

日本外交文書

昭和期Ⅰ第一部第五卷

目付索引

昭和期Ⅰ第一部第五卷 日付索引

昭和六年（一九三二）一月

事項 番号	文書 番号	電信 書信 番号	発・受信者	件名	頁
一	1	昭 和 6 年 1 月 (1) 日 公 一 三 〇 一	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛（電報）	領事館開設に關し中国側の台北領事館開設を承認する旨のメモを王外交部長に手交について	1
		別 電	一月一日着在中國重光臨時代理公使より幣原外務大臣宛公第一三〇二号 中国側の台北領事館開設を承認するメモ		2
		付記一	昭和五年十二月十三日着在中國重光臨時代理公使より幣原外務大臣宛電報 第一二一六号 東北における領事館開設問題は先ず鄭州の開館より始めること得策との意見具申		2
		二	昭和五年十二月十六日発幣原外務大臣より在中國重光臨時代理公使宛電報 第四五三号 領事館開設に關し我が方鄭州、洮南を中国側台北、清津で交渉継続方訓令		3
四	356	昭 和 6 年 1 月 (1) 日 公 一 三 〇 三	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛（電報）	幣原外相の指導による日本の外交政策が日中兩國に有意義である旨の王外交部長談話について	382
五	452	昭 和 6 年 1 月 2 日 二	幣原外務大臣より 太田閔東長官宛（電報）	大連税関の新旧定税率実施期日告示に關し応諾方訓令	504
八	800	昭 和 6 年 1 月 2 日 一	在天津田尻総領事代理より 幣原外務大臣宛（電報）	南京引揚げ後の張学良の対日および対中央政府態度について	839
五	573	昭 和 6 年 1 月 3 日 六	幣原外務大臣より 在中国重光臨時代理公使宛（電報）	統一税施行地域および徴収機關に關し閔東長官より照会につき査報方訓令	629
五	453	昭 和 6 年 1 月 6 日 五	在天津田尻総領事代理より 幣原外務大臣宛（電報）	張学良が東三省、河北、山西、熱河、察哈爾各省の裁厘に關し通電について	505

五	九	六	一	四	五	五	一	八	六	五	六	四
578	960	606	8	361	456	455	7	801	604	577	605	360
昭和6年1月13日	昭和6年1月13日	昭和6年1月13日	昭和6年1月12日	昭和6年1月12日	昭和6年1月12日	昭和6年1月11日	昭和6年1月11日	昭和6年1月10日	昭和6年1月10日	昭和6年1月10日	昭和6年1月10日	昭和6年1月10日
一一	一〇	会談	三三	一九	二	一三	二	一八三ノ二	商三	五	一四	一八
幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
在上海村井總領事より	在上海村井總領事より	在上海村井總領事より	在上海村井總領事より	在上海村井總領事より	在上海村井總領事より	在上海村井總領事より	在上海村井總領事より	在上海村井總領事より	在上海村井總領事より	在上海村井總領事より	在上海村井總領事より	在上海村井總領事より
統一税の実施は二月一日、特殊消費税は統税	統一税の実施は二月一日、特殊消費税は統税	統一税の実施は二月一日、特殊消費税は統税	統一税の実施は二月一日、特殊消費税は統税	統一税の実施は二月一日、特殊消費税は統税	統一税の実施は二月一日、特殊消費税は統税	統一税の実施は二月一日、特殊消費税は統税	統一税の実施は二月一日、特殊消費税は統税	統一税の実施は二月一日、特殊消費税は統税	統一税の実施は二月一日、特殊消費税は統税	統一税の実施は二月一日、特殊消費税は統税	統一税の実施は二月一日、特殊消費税は統税	統一税の実施は二月一日、特殊消費税は統税
631	1039	652	12	387	507	506	11	840	650	630	651	386

一	一	五	一	一	一	四	四	五	五	四	五
6	5	576	4	3	2	359	358	575	574	357	454
昭和6年1月10日	昭和6年1月9日	昭和6年1月9日	昭和6年1月9日	昭和6年1月8日	昭和6年1月8日	昭和6年1月8日	昭和6年1月18日	昭和6年1月8日	昭和6年1月7日	昭和6年1月(7)日	昭和6年1月6日
一二	二四	一九	九	機密二〇	機密二〇	機密二〇	一五	一〇	一一	五	三
幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
在奉天林總領事より	在奉天林總領事より	在奉天林總領事より	在奉天林總領事より	在奉天林總領事より	在奉天林總領事より	在奉天林總領事より	在奉天林總領事より	在奉天林總領事より	在奉天林總領事より	在奉天林總領事より	在奉天林總領事より
東北では出産税、鎖場税を厘金と認め取計う	東北では出産税、鎖場税を厘金と認め取計う	東北では出産税、鎖場税を厘金と認め取計う	東北では出産税、鎖場税を厘金と認め取計う	東北では出産税、鎖場税を厘金と認め取計う	東北では出産税、鎖場税を厘金と認め取計う	東北では出産税、鎖場税を厘金と認め取計う	東北では出産税、鎖場税を厘金と認め取計う	東北では出産税、鎖場税を厘金と認め取計う	東北では出産税、鎖場税を厘金と認め取計う	東北では出産税、鎖場税を厘金と認め取計う	東北では出産税、鎖場税を厘金と認め取計う
10	9	630	8	4	3	386	385	630	629	382	505

5

八	一	一	一	六	一	四	五	一	九	一	一	一	五	四	一	五	六	五	六	八			
806	26	24	25	615	23	365	582	22	962	21	20				19	581	364	18	580	614	579	613	805
昭和6年1月26日	昭和6年1月26日	昭和6年1月26日	昭和6年1月26日	昭和6年1月24日	昭和6年1月24日	昭和6年1月24日	昭和6年1月23日	昭和6年1月23日	昭和6年1月22日	昭和6年1月22日	昭和6年1月22日				昭和6年1月22日	昭和6年1月21日	昭和6年1月21日	昭和6年1月21日	昭和6年1月21日	昭和6年1月20日	昭和6年1月20日	昭和6年1月20日	昭和6年1月20日
機密四七															三九	商機密二五	六	六一	二六		五八	二〇	二三
在鉄嶺石塚領事代理より 幣原外務大臣宛	在奉天木村満鉄理事より 永井外務次官宛（電報）	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛（電報）	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	在吉林石射総領事宛（電報）	武居在華日本紡績同業会委員長より 幣原外務大臣宛	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	在福州田村総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛（電報）				在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	在上海横竹商務参事官より 幣原外務大臣宛	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛（電報）	守島亜細亜局第一課長より 堀内在中国公使館一等書記官宛（半公 信）	在上海重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛（電報）	在中国重光臨時代理公使宛（電報）	在中国矢野公使館参事官より 幣原外務大臣宛（電報）
開原における日本側銀行営業不振の原因につ いて	張学良は我が方の鉄道問題提案に対し此の種 の提議ならば商議進行し得べき旨談話につ いて	張学良は日本の東北鉄道交渉方針に安堵の旨 を湯爾和に談話について	安東密輸取締りに伴う困窮朝鮮人救済費に関 し外務省も半額程度の支出を要請	張学良は我が方の鉄道問題提案に対し此の種 の提議ならば商議進行し得べき旨談話につ いて	張学良は我が方の鉄道問題提案に対し此の種 の提議ならば商議進行し得べき旨談話につ いて	張学良は我が方の鉄道問題提案に対し此の種 の提議ならば商議進行し得べき旨談話につ いて	張学良第一回鉄道交渉において中央と地方と の権限問題並びに民論重視を談話の旨木村理 事報告	統一税交渉妥結につき感謝について	満州銀行より自発的に法院へ訴訟提起方差し 支えなき旨訓令	張学良の叙勲に関する松岡代議士の演説は事 実に反するため新聞掲載禁止について	債務整理の順位として売掛金・民間実業借款 を優先方請願について	張学良は我が方の鉄道問題提案に対し此の種 の提議ならば商議進行し得べき旨談話につ いて	張学良は我が方の鉄道問題提案に対し此の種 の提議ならば商議進行し得べき旨談話につ いて	張学良は我が方の鉄道問題提案に対し此の種 の提議ならば商議進行し得べき旨談話につ いて	張学良は我が方の鉄道問題提案に対し此の種 の提議ならば商議進行し得べき旨談話につ いて	張学良は我が方の鉄道問題提案に対し此の種 の提議ならば商議進行し得べき旨談話につ いて	張学良は我が方の鉄道問題提案に対し此の種 の提議ならば商議進行し得べき旨談話につ いて	張学良は我が方の鉄道問題提案に対し此の種 の提議ならば商議進行し得べき旨談話につ いて	張学良は我が方の鉄道問題提案に対し此の種 の提議ならば商議進行し得べき旨談話につ いて	張学良は我が方の鉄道問題提案に対し此の種 の提議ならば商議進行し得べき旨談話につ いて	張学良は我が方の鉄道問題提案に対し此の種 の提議ならば商議進行し得べき旨談話につ いて	張学良は我が方の鉄道問題提案に対し此の種 の提議ならば商議進行し得べき旨談話につ いて	張学良は我が方の鉄道問題提案に対し此の種 の提議ならば商議進行し得べき旨談話につ いて
845	32	30	31	664	30	394	634	28	1040	26	25				22	633	393	22	632	664	632	661	845

六	九	一	一	五	五	一	五	六	五
618	964	33	32	462	461	34	585	617	460
昭和6年2月4日	昭和6年2月3日	昭和6年2月(3)日	昭和6年2月(3)日	昭和6年2月(3)日	昭和6年2月3日	昭和6年2月3日	昭和6年2月2日	昭和6年2月2日	昭和6年2月1日
合八四	一〇六	七六	七五	一〇四	四二	五八	商七	合七二	三九
幣原外務大臣より (電報)	幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使宛(電報)	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海橫濱商務参事官より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在英國松平大使、在米國出淵大使宛 (電報)	在天津田尻總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)
別電 対中借款に関するアデイス申し出に對する回答案	幣原外務大臣より 在英國松平大使、在米國出淵大使宛 (電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使宛(電報)	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海橫濱商務参事官より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在英國松平大使、在米國出淵大使宛 (電報)	在天津田尻總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)
670	668	1042	42	39	511	511	43	635	667
河北省における特殊消費税の徴収差止を中央 政府に申し入れ方意見具申	張學良が叙勲問題に関する松岡代議士発言に 遺憾表明について	張學良が間島問題に關し朝鮮人の中国帰化承 認を要望しかつ日本警察権の確立に憂慮表明 について	張學良が間島問題に關し朝鮮人の中国帰化承 認を要望しかつ日本警察権の確立に憂慮表明 について	張學良が間島問題に關し朝鮮人の中国帰化承 認を要望しかつ日本警察権の確立に憂慮表明 について	張學良が間島問題に關し朝鮮人の中国帰化承 認を要望しかつ日本警察権の確立に憂慮表明 について	張學良が間島問題に關し朝鮮人の中国帰化承 認を要望しかつ日本警察権の確立に憂慮表明 について	張學良が間島問題に關し朝鮮人の中国帰化承 認を要望しかつ日本警察権の確立に憂慮表明 について	張學良が間島問題に關し朝鮮人の中国帰化承 認を要望しかつ日本警察権の確立に憂慮表明 について	張學良が間島問題に關し朝鮮人の中国帰化承 認を要望しかつ日本警察権の確立に憂慮表明 について
670	668	1042	42	39	511	511	43	635	667

昭和六年(一九三二)二月

一	五	一	五	五	九	五	一	一	五	六	一
31	459	30	458	457	963	584	29	28	583	616	27
昭和6年1月31日	昭和6年1月31日	昭和6年1月30日	昭和6年1月30日	昭和6年1月29日	昭和6年1月29日	昭和6年1月29日	昭和6年1月29日	昭和6年1月28日	昭和6年1月28日	昭和6年1月27日	昭和6年1月26日
七一	三七	七〇	一〇〇	九一	九〇	八九	八八	垂二機密九	八五	機密公 一八三	五五 八ノ二
幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在奉天林總領事宛	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在廣東須磨總領事代理より 幣原外務大臣宛	中谷関東庁警務局長より 堀切拓務次官(宛)
幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在奉天林總領事宛	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在廣東須磨總領事代理より 幣原外務大臣宛	中谷関東庁警務局長より 堀切拓務次官(宛)
39	509	38	508	508	1040	635	37	36	634	666	33
東北問題に關し我が方に中國攻撃の捏造情報 あり連合本社に對し嚴重注意方上申について	張福運に對し裁厘の模様および各種新税の進 捗程度を確認について	張福運に對し裁厘の模様および各種新税の進 捗程度を確認について	張福運に對し裁厘の模様および各種新税の進 捗程度を確認について	張福運に對し裁厘の模様および各種新税の進 捗程度を確認について	張福運に對し裁厘の模様および各種新税の進 捗程度を確認について	張福運に對し裁厘の模様および各種新税の進 捗程度を確認について	張福運に對し裁厘の模様および各種新税の進 捗程度を確認について	張福運に對し裁厘の模様および各種新税の進 捗程度を確認について	張福運に對し裁厘の模様および各種新税の進 捗程度を確認について	張福運に對し裁厘の模様および各種新税の進 捗程度を確認について	張福運に對し裁厘の模様および各種新税の進 捗程度を確認について
39	509	38	508	508	1040	635	37	36	634	666	33

一	五	一	六	六	五	五	五	六	六	八	一	八	九	六	六	五	六	九	六	一	五	一
35	586	36	619	965	620	621	587	622	37	38												
昭和6年2月4日	昭和6年2月4日	昭和6年2月4日	昭和6年2月(5)日	昭和6年2月5日	昭和6年2月5日	昭和6年2月5日	昭和6年2月5日	昭和6年2月5日	昭和6年2月5日	昭和6年2月6日												
八〇	四三	機密六八	一一一	一一三	三一	一一〇	一一六			八												
在奉天林総領事より	在中國矢野公使館参事官より	在鐵嶺石塚領事代理より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在仏国芳沢大使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在暹春毛利分館主任より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より											
幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)											
付記	安東密輸取締による困窮朝鮮人救済費支出に関する高裁案																					
二月六日高裁済み																						
50	49	45	674	637	673	672	1043	671	44	636	44											
湯爾和張學良の真意伝達のため機をみて渡日の意向との旨談話について	鐵道運賃差別問題に対する列国との協同動作方につき請訓	商租契約等の対日交渉事項に関する国民政府行政院指令内容について	銀相場安定のため英米との間で國際會議必要およびアデイスに対して借款申し入れの事実なき旨宋子文内話について	善意の貿易・漁業を禁止せざる様係官に申し入れ方差支えなしとの宋子文陳述について	中国において具体的な担保として鐵道借款等は問題にならず關稅收入以外に無くコンソルシウム借款は時期尚早との意見具申	西原借款だけでなく對華債權元利合計全部の上にも有利と宋子文に申入れについて	綿糸統一税に関する在華紡績連合会と統稅当局との契約条項の主な内容について	一月二十七日堀内・曾宗鑑閣海關收入問題銀借款問題等に関する會議錄送付について	末松理事官の到来を機に開催の共產主義取締り方針についての協議會議事報告について	安東密輸取締りによる困窮朝鮮人救済費二千元支出について	鐵道運賃差別撤廃のため各國公館より同文電報による抗議提出させる様交渉方訓令	辰稅制度廢止方に関する海關告示につき報告	國民政府内部において胡漢民等理想派が銀借款を推進して宋子文等現実派を圧迫の状況につき報告	債務整理・借款問題に対する各國の態度を報告	日本人浪人が張學良暗殺計画のため瀋陽方面に乘込みとの情報について	中国鐵道法案の内容探査の上報告方訓令	蔣介石による北平の副司令部設置認可および東北主要地に党部設置指導員派遣など時局に關する劉光の内話について	市社会局が上海中国魚商に対し愛国の精神に基き日本魚類の販賣を拒絶すべき旨勸告について	ラモント、アデスおよび英米当局は有効な管理方法がなければ對中借款に応じない旨一致意見なる等とのアブノルの杉村公使への内報について	中東鐵道交渉に關し張學良は表面上南京をして交渉に當らしむる意向とのカラハンの談話について	英米兩國とも鐵道運賃差別撤廃に消極的故同文電報を國民政府に提出する外なき旨重光宛電報	

一	九	九	一	八	四		六	六		四	九		五	一	一	一	九	四	五	五	一	八	一	一
47	970	969	46	811	368		627	626		367	968		464	45	44	43	967	366	591	590	42	810	41	40
昭和6年2月17日	昭和6年2月17日	昭和6年2月17日	昭和6年2月16日	昭和6年2月15日	昭和6年2月(15)日		昭和6年2月14日	昭和6年2月14日		昭和6年2月13日	昭和6年2月(13)日		昭和6年2月12日	昭和6年2月11日	昭和6年2月11日	昭和6年2月11日	昭和6年2月(11)日	昭和6年2月10日	昭和6年2月10日	昭和6年2月10日	昭和6年2月10日	昭和6年2月(10)日	昭和6年2月9日	昭和6年2月9日
機密八一	六〇	一二	一五七	機密公 一〇四	一四四		一四八	一四七		調六〇	二九		五七	七八	九二	九〇	二一	七五	一三二	一二九	一二八	八九	機密一〇七	機密七二
幣原外務大臣宛	在安東米沢領事より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	在中国重光臨時代理公使より		幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より		菅原東洋拓殖總裁より	在青島川越總領事より		幣原外務大臣より	在南京上村領事より	幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より	幣原外務大臣宛(電報)	在南京上村領事より	幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より	幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より	幣原外務大臣宛	在安東米沢領事より
					付記 昭和五年十二月六日発在中國重光臨時代理公使より					付記 三月二日付堀切拓務次官より永井外務次官宛第一九七号	在青島川越總領事より													
					財政顧問として中国側希望に応ずる人物至急推薦方要請					「東拓会社対中華民国濟南電話公司訴訟問題ニ関スル件」	幣原外務大臣宛(電報)													
					对中国法権交渉の開始時期に関する觀察について					ソコルスキーが渡米途中に立ち寄ると思われ、備が必要につき西原借款整理の必要性を説明する準備につき回示方要請	銀暴落防止状況並びに中国への財政顧問推薦につき回示方要請													
					銀安および関税率引上げの吉林省地方における日本輸入雑貨に対する影響について					東拓対濟南電話公司貸付金請求訴訟に關し中国法院において内外人の別なく公正な取扱いをなす様中央政府に嚴重交渉方依頼請願	百屯未滿船舶の外国貿易禁止の告示は密輸防止から日本漁業に迫ると目的を代えているため税関長に抗議方請訓													
					鐵道運賃差別に關し鐵道部は廃止の意向との劉業務司長などからの聞込みについて																			
					百屯未滿船舶の外国貿易禁止に關し口頭をもつて税務司に抗議方訓令																			
					本船舶が香港地方同様中国各港に出入し得る様交渉方訓令																			
					安東海關に日本人監視員の採用實現について																			
58	1046	1046	58	848	396		684	683		395	1045		512	57	56	55	1044	394	639	638	55	848	53	51

一	六	六	六	八	五	八	一	一	五	六	六	一	一	五	一	九	六	四	一	一	八	六	一
56	633	632	634	814	593	813	55	54	592	631	630	53	52	465	51	971	629	369	50	49	812	628	48
昭和6年2月27日	昭和6年2月27日	昭和6年2月27日	昭和6年2月27日	昭和6年2月26日	昭和6年2月26日	昭和6年2月25日	昭和6年2月24日	昭和6年2月24日	昭和6年2月24日	昭和6年2月23日	昭和6年2月23日	昭和6年2月23日	昭和6年2月21日	昭和6年2月21日	昭和6年2月21日	昭和6年2月20日	昭和6年2月20日	昭和6年2月20日	昭和6年2月19日	昭和6年2月19日	昭和6年2月18日	昭和6年2月17日	昭和6年2月17日
一 二八	一九二	一九〇	一九三	本機密 一〇六	本機密 一〇六	機密一四六	機密公 一一八	一二〇	一八三	亜一機密 一五	六九	四〇	機密八九	通一機密九	一七九	一七七	一七一	一七〇	亞一機密合 一七八	三三	機密一二五		關機高支 一三二
在奉天林総領事より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在チチハル清水領事より	在中國重光臨時代理公使より	在奉天林総領事より	在吉林石射総領事より	在奉天林総領事より	在中國重光臨時代理公使より	在濟南西田総領事宛	在上海村井総領事より	在奉天林総領事宛(電報)	在安東米沢領事より	在安東米沢領事宛	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在奉天林総領事より	在奉天林総領事宛(電報)	在奉天林総領事より	中日実業株式会社高木副總裁より	中谷関東庁警務局長より
幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛	永井外務次官宛
東北鐵道交渉に対する遼寧國民外交協會の策動について	銀行借款案に關し中國交通兩銀行側は米國が好海事件で貸付けの聞き込みについて	山東省実業借款整理に關し中日実業側をして交渉させると共に貴官も側面から援助方訓令綿系統一税の実施期間に關し同業會側は宋提議の一年を受諾方適當とし妥結を計る趣について	東北鐵道交渉開始の準備はば整った旨の高紀毅談話を政治報掲載について	張作相の省政府委員会における鐵道建設に外資を借りることは根本的な錯誤との談話について	遼寧省政府内にて開催された北方各市財政主腦會議狀況報告	孫科鐵道部長は運賃差別取り扱い困難につき撤廃、新運賃率導入を談話について	東北各省は南京側の要求を容れ差当り省党部設立の方針決定について	ソコルスキーは正金等に米國での起債の斡旋を依頼すると思われがその際債務整理を督促すべく手配方意見具申	宋子文による債務整理は銀借款問題および反對派策動等のため進捗していない狀況報告	曾宗鑑がヤングと協議の上宋子文に提出した整理案の骨子を木村に内話について	重要案件については滿鉄、陸軍その他出先諸機關と連絡緊密化に留意しつつある旨について	中國鐵道法案が正式公布の場合は時機を逸せず適當の措置を講じたき意向について	安東密輸取締りによる失業朝鮮人救済並びに邦商苦境打開策について	中國側関税自主權を承認しているため戻税廃止には抗議の余地なきについて	木村滿鐵理事の東北鐵道問題並びに東北内朝鮮人問題につき王家楨外交次長と會談について	宋財政部長に對し日本のトロール船のみを禁止することの不当なる点を指摘について	宋子文が外國との内交渉促進の予定、孫科が西原借款に触れたことに當惑と談話について	日本の中外交渉態度に關して好意的表示切望する旨の王外交部長談話について	米代理大使より米國で東北における鐵道建設あるいは買収のための對中、對独借款交渉は行なわれていない旨通告について	遼寧省農場地内にフォード工場建設の計画ありとの情報、真偽に付調査方訓令	東三省政府筋の特産大規模買上げ計画について	暫行的弁法として山東省区域内の日本人居留民が納付する一切の税金を中日実業側にて徴収方中國側に交渉ありたき旨請願	
68	689	688	689	857	641	851	66	65	640	687	686	65	62	514	61	1047	685	397	60	60	849	684	59

四	六	六	八	八	一	四	四	八	四	八	五
374	638	639	821	820	60	373	372	819	371	818	594
昭和6年3月(7)日	昭和6年3月(7)日	昭和6年3月6日	昭和6年3月6日	昭和6年3月6日	昭和6年3月6日	昭和6年3月(6)日	昭和6年3月(6)日	昭和6年3月5日	昭和6年3月5日	昭和6年3月4日	昭和6年3月3日
二四四	二三九	二四〇	七五	六七	一五九	一六〇	二三四	一五八	二二七	一四八	
在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国矢野公使館参事官より 幣原外務大臣宛(電報)	在天津桑島總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在華日本紡績同業会武居委員長より 幣原外務大臣宛
蔣主席と面談の際日本政界の現状および我が 政府の対中方針に誤解なき様説明について	中英米間の法権交渉等により中国の対日態 度冷却化しつつあり日本も对中国政策の根本 的見直しが必要なる旨意見具申	王正廷が内外債整理委員会外交部として 西原借款を認める形式の整理案採用困難と述 べたとの曾宗鑑内話について	山西軍改編の表面上終了に伴う張學良による 各軍の点検分担着手について	四洮・打通線連絡工事干渉は木村理事の交渉 に影響あり得るにつき新たな措置差控えにつ いて	間島在住朝鮮人で中国への帰化を希望する者 に対し詮衡の上承認方意見具申	王外交部長より租界回収の話に対し東北に おける日本権益に手を触れぬ様申し入れにつ いて	満鉄公署爆弾投擲事件の記事掲載に關し大阪 毎日幹部に注意方白鳥情報部長に依頼電報	王外交部長が日中間で懸案未解決のものが多 いとし一覧表を読み上げ説明について	満鉄公署裏庭に爆弾を日本国旗に包み投擲さ れた事件に対し犯人捜査中について	綿糸統一税に關し契約期限を一年とする交渉 成立し契約書交換の運びとなりたるについて	
404	693	694	861	860	72	403	402	860	400	859	642

八	六	八	六	六	五	一	一	一	四	八
817	636	816	637	635	466	59	58	57	370	815
昭和6年3月3日	昭和6年3月2日	昭和6年3月2日	昭和6年3月2日	昭和6年3月2日	昭和6年2月28日	昭和6年2月28日	昭和6年2月28日	昭和6年2月28日	昭和6年2月28日	昭和6年2月27日
一五	一四三	一四三	一九	二〇六	三五	一三二	一三二	一三一	一〇五	二一
幣原外務大臣より 在青島川越總領事宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在濟南西田總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在青島川越總領事より 幣原外務大臣宛(電報)
在山東領事會議開催方許可する旨訓令	西原借款に關する岡部興業銀行囑託意見書送 付について	東北主要地官民の入党手続きおよび党部開設 に關する興鐵城の内話について	意見と連関させてソルターの訪中借款に關する ているとの杉村次長内報について	アデイス発案に対し全般的債務整理乃至中国 財界の立直しの如き一般的計画として促進方 意見具申	山東省では營業税を内外商區別無く課税の意 向並び同税に對する英米独各領事の態度につ いて	木村理事より張學良との会谈報告中一部陸軍、 拓務兩省への通報差控え方申し出について	鉄道交渉に關し懇談形式で進めることで張學 良と合意成立との木村理事電報	致事項を新聞発表について	南京・漢口事件の賠償額に關する交換公文案 ついて	換方有益且つ必要と思考について
859	691	858	692	690	514	71	69	69	398	858

[illegible]

20

付記一
二月二十三日付中谷関東庁警務局長より谷亜細亜局長宛（私信）
関東庁より安東密輸取締りに注意喚起しつつある旨並びに在東北各機関の協
調方具申について……… 80

二
三月四日付谷亜細亜局長より中谷関東庁警務局長宛（私信）
関東庁の協力を要請並びに在東北各機関の機能發揮に尽力、指導方仰ぎたき
について……… 83

九	980	昭和6年4月15日	三九四	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	1055
四	387	昭和6年4月15日	三八九	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	440
八	834	昭和6年4月13日	二五一	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	872
四	386	昭和6年4月13日		外務省 拓務省 朝鮮総督府 } 協議 幣原外務大臣宛(電報)	429
七	791	昭和6年4月12日	三七八	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	829
一	74	昭和6年4月10日	機密二九九	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛	85
九	979	昭和6年4月10日	六六	在青島川越総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	1054
七	790	昭和6年4月10日	一四七	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	829
一	73	昭和6年4月9日	並二機密 三三二	永井外務次官より 堀切拓務次官宛	85
七	789	昭和6年4月9日	一九六	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	828
九	978	昭和6年4月9日	五九	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛(電報)	1053
	72	昭和6年4月9日	一九	在吉林石臈総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	84

五	九	九	八	一	七	五	一	四	一	九	九	四	一	八	七	七	八	七	一	一	五	四	七	六
474	984	983	837	80	796	473	79	390	78	981	982	389	77	836	795	794	835	793	76	75	472	388	792	643
昭和6年4月28日	昭和6年4月28日	昭和6年4月28日	昭和6年4月27日	昭和6年4月27日	昭和6年4月26日	昭和6年4月26日	昭和6年4月25日	昭和6年4月25日	昭和6年4月25日	昭和6年4月25日	昭和6年4月25日	昭和6年4月24日	昭和6年4月23日	昭和6年4月23日	昭和6年4月23日	昭和6年4月22日	昭和6年4月21日	昭和6年4月18日	昭和6年4月18日	昭和6年4月17日	昭和6年4月17日	昭和6年4月17日	昭和6年4月15日	昭和6年4月15日
三五	二五五	合二五六	二八		二四八	二四七	機密四二三	二七五	二七四	一四九	四一二	一七五	關機高支 四一〇六ノ二	機密二〇一	二三〇	二二九	一四二	四〇五	二五六	三一	合二三九	二二二	三九五	
塚本関東長官より 幣原外務大臣宛（電報）	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛（電報）	幣原外務大臣より 在南京上村領事館書記官宛（電報）	在香港吉田総領事代理より 幣原外務大臣宛（電報）	幣原外務大臣演説	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛（電報）	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛（電報）	在間島岡田総領事より 幣原外務大臣宛	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	幣原外務大臣より 在中国堀内公使館書記官宛（電報）	在中国堀内公使館書記官より 幣原外務大臣宛（電報）	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	中谷関東庁警務局長より 永井外務次官宛	在青島川越総領事より 幣原外務大臣宛	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛（電報）	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛（電報）	在中国矢野公使館参事官より 幣原外務大臣宛（電報）	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛（電報）	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	塚本関東長官より 幣原外務大臣宛（電報）	幣原外務大臣より 在中国各公館長宛（電報）	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛（電報）	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛（電報）	
海關金單位券の発行により横濱正金銀行は大位を覆される状況について	海關金單位券の発行により横濱正金銀行は大位を覆される状況について	海關金單位券の発行により横濱正金銀行は大位を覆される状況について	海關金單位券の発行により横濱正金銀行は大位を覆される状況について	海關金單位券の発行により横濱正金銀行は大位を覆される状況について	海關金單位券の発行により横濱正金銀行は大位を覆される状況について	海關金單位券の発行により横濱正金銀行は大位を覆される状況について	海關金單位券の発行により横濱正金銀行は大位を覆される状況について	海關金單位券の発行により横濱正金銀行は大位を覆される状況について	海關金單位券の発行により横濱正金銀行は大位を覆される状況について	海關金單位券の発行により横濱正金銀行は大位を覆される状況について	海關金單位券の発行により横濱正金銀行は大位を覆される状況について	海關金單位券の発行により横濱正金銀行は大位を覆される状況について	遼寧省政府の国土盜売懲罰標準制定について	遼寧省政府の国土盜売懲罰標準制定について	遼寧省政府の国土盜売懲罰標準制定について	遼寧省政府の国土盜売懲罰標準制定について	遼寧省政府の国土盜売懲罰標準制定について	遼寧省政府の国土盜売懲罰標準制定について	遼寧省政府の国土盜売懲罰標準制定について	遼寧省政府の国土盜売懲罰標準制定について	遼寧省政府の国土盜売懲罰標準制定について	遼寧省政府の国土盜売懲罰標準制定について	遼寧省政府の国土盜売懲罰標準制定について	
523	1059	1058	886	90	834	523	90	443	89	1056	1057	442	88	873	833	832	872	831	88	86	520	441	830	699

一	八	六	六	二	八	一	八	五	一	四	五
83	843	645	644	168	842	82	841	480	81	392	479
昭和6年5月11日	昭和6年5月9日	昭和6年5月9日	昭和6年5月9日	昭和6年5月8日	昭和6年5月7日	昭和6年5月6日	昭和6年5月6日	昭和6年5月6日	昭和6年5月5日	昭和6年5月5日	昭和6年5月4日
三〇四	二九三	一〇二	一〇一	機密一九三	一六二	機密二五七	四三二	五	七一	四二六	二九一
在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在米出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛	在中国矢野公使館参事官より 幣原外務大臣宛(電報)	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在遼陽山崎領事代理宛(電報)	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)
遼寧国民外交協會が旅大、安奉線回収などを 国民會議に提議方張学良等に電請について	銀價安定問題に関する國際會議召集を懇請さ れた場合の我が方の対応内意につき請訓	銀價安定問題に関する國際會議召集を懇請さ れた場合の我が方の対応内意につき請訓	銀價安定問題に関する國際會議召集を懇請さ れた場合の我が方の対応内意につき請訓	吉林省政府が朝鮮人の新規居住禁止密令を長 春市政籌備処長に通達について	張学良幹旋による山西軍政費中央支給は蔣が 北方軍の広東軍との呼応を阻止せんとしたも のとの商震談話について	中国官憲が商租契約をなしたる朝鮮人の商租 地移転を阻止しおる旨報告	王外交部長が重光に国民會議は成功裡に終了 する見込み等を陳述について	満州紡績株式会社への統稅徵收は黙認する外 なきも付屬地外徵稅など具体的方法考究方訓 令	安東密輸沒收品の帰屬關係確定につき請訓	遼寧省政府の營業稅徵收開始にあたり付屬地 外に稅局派出所を置き品種數量價格等を記帳 について	遼寧省政府の營業稅徵收開始にあたり付屬地 外に稅局派出所を置き品種數量價格等を記帳 について
101	891	701	700	178	890	99	889	530	98	444	529

五	九	五	九	五	八	八	四		八	五
478	986	476	985	477	840	839	391		838	475
昭和6年5月4日	昭和6年5月4日	昭和6年5月1日	昭和6年5月1日	昭和6年5月1日	昭和6年5月1日	昭和6年5月(1)日	昭和6年5月1日		昭和6年4月30日	昭和6年4月29日
二八六	四二五	三八	二六九	四一九	一五七	三一	五九		一九	三
在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在旅順塚本閣東長官より 幣原外務大臣宛(電報)	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海堀内書記官より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國矢野公使館参事官より 幣原外務大臣宛(電報)	在香港吉田總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在上海村井總領事宛(電報)		在長春田代領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在遼陽山崎領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)
遼寧省政府による營業稅徵收に対し付屬地警 察に阻止方移牒と共に特派員へも嚴重抗議に ついて	日本側としては治外法權により何等制限を受 けずと主張する外無き旨について	遼寧省政府による營業稅徵收に対し付屬地警 察に阻止方移牒と共に特派員へも嚴重抗議に ついて	張閔務署長に対し二重課稅容認し得ざるにつ き暫行弁法講究方申し入れについて	中国側二回に亘る海關告示は飽盜密輸を取り 締ると共に本國漁業を保護するにありとの外 交覺書について	東北四省代表が國民會議に治外法權撤廃、対 日政策の確定、中東鐵道の回收、在東北朝鮮 人待遇弁法確定を提案予定について	陳銘枢逃亡につき古応分名で反蔣通電発出の 動向について	中国司法制度調査は中國側惡宣傳に利用され ず目立たぬ方法により調査方訓令		満州紡績株式会社内に駐在員を常駐させるこ とは付屬地内における中國側の徵稅權を認め る結果となるにつき至急回電方請訓	満州紡績株式会社内に駐在員を常駐させるこ とは付屬地内における中國側の徵稅權を認め る結果となるにつき至急回電方請訓
529	1061	527	1059	528	889	888	443		887	527

付記 高裁案 五月二十五日起案

「關東州ニ於ケル海關金單位兌換券使用可否問題ニ關スル件」

九	五	五	五	六	六	九	四	九	六
989	490	491	489	648	647	988	394	987	646
昭和6年5月22日	昭和6年5月21日	昭和6年5月21日	昭和6年5月21日	昭和6年5月20日	昭和6年5月20日	昭和6年5月19日	昭和6年5月18日	昭和6年5月18日	昭和6年5月18日
一七九	一七七	三七	三四	一一一	一二〇	一〇二	機密五三二	三一六	四五八
幣原外務大臣より 在中国重光臨時代理公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中国重光臨時代理公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在安東米沢領事宛(電報)	幣原外務大臣より 塚本閣東長官宛(電報)	幣原外務大臣より 在米出国洲大使宛(電報)	幣原外務大臣より 在英国松平大使宛(電報)	幣原外務大臣より 在青島堀總領事代理より	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
別電 五月二十二日発幣原外務大臣より在中国重光臨時代理公使宛第一八〇号				付記 五月十二日閣議議事覚書「銀価ニ関スル国際會議招集問題」					
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
1065	1064	538	539	704	703	703	1063	445	1062

八	五	五	七	五	五	五	五	五	八	四	五
845	487	488	797	486	485	484	483	482	844	393	481
昭和6年5月17日	昭和6年5月17日	昭和6年5月17日	昭和6年5月17日	昭和6年5月16日	昭和6年5月15日	昭和6年5月15日	昭和6年5月15日	昭和6年5月14日	昭和6年5月13日	昭和6年5月13日	昭和6年5月12日
三一三	三一三	三一五	四五五	一一二	七五	四五五	四五二	三〇八	三〇七	一六七	五
幣原外務大臣宛(電報)	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事宛(電報)	幣原外務大臣より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使宛(電報)	在遼陽山崎領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)
國民會議閉会式における宣言について	統稅徵收に關し中央政府に對しても折衝しな ければ解決乃至難と思はれる旨意見具申	統稅に對する政府の根本的態度決定までビー 統稅司談の通り「アランダールプロテスト」に て納入が妥當との安東領事宛電報	國民黨党部の連合通信に對する態度硬化の状 況に鑑み問題の急速解決困難なる狀況につい て	綿糸統稅徵收は付屬地行政權に抵觸するため 同地外で徵稅せざるよう訓令	海關内に統稅局設置とのピール稅務司内話へ の対応方請訓	中國國定稅率導入により輸出付加稅廢止につ いて	五月十六日より各海關で統稅徵收開始に當り 大連海關でも徵收方申し出に對する処置につ き請訓	商埠地および城内居住日本商に對し中國稅局 より納稅方直接要求し來りたるに對して	十三日の本會議において通過した不平等條約 排除に關する對外宣言について	間島在住朝鮮人の土地所有權享有に關する根 拠について	統稅徵收に對する我が方提案を遼寧財政庁不 承認について
892	536	538	835	535	534	534	533	532	891	444	531

五	503	昭和6年6月2日	九三	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛(電報)	東北石炭に対する安東の妥協弁法をメーゾ総 税務司が拒否したるに對し従來の税率額を供 託し強制通關する旨重光宛電報……………	550
五	502	昭和6年6月2日	三八	幣原外務大臣より 塚本閣東長官宛(電報)	東北石炭に対する新輸出税率適用に關し海關 側に一アンダープロテスト」付にて通關を認 めさせるよう訓令……………	549
五	501	昭和6年6月1日	六	在鐵嶺石塚領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	鐵嶺における日本商の營業稅納付方に關し詮 議ありたきについて……………	548
五	500	昭和6年6月1日	九一	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛(電報)	安東における新輸出稅の適応に關する応急弁 法につき海關長と談合同意内容を木村理事宛 電報……………	548
五	499	昭和6年6月1日	三七	幣原外務大臣より 塚本閣東長官宛(電報)	転口稅告示を承認方訓令……………	547
三	282	昭和6年5月31日	機密一九八	在滿州里豐原領事館事務代理より 幣原外務大臣宛	ホルンバイル地方実情調査の日本軍人の秘密 行動を中国官憲注目について……………	314
五	498	昭和6年5月31日		木村滿鐵理事より 武富通商局長宛(電報)	東北石炭への新輸出税率適用に對し海關へ抗 議方營口領事宛依頼……………	547
五	497	昭和6年5月31日	九〇	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛(電報)	当地海關が東北石炭に新輸出税率適用につき 中国中央に嚴重交渉ありたき旨重光宛要請に ついて……………	546
八	849	昭和6年5月30日	一五五	在広東須磨總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	広東政府の概要に關する孫科の談話について……………	896
八	848	昭和6年5月30日	一五四	在広東須磨總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	蔣介石下野後は広東政府が中国を代表する等 の汪精衛の内話について……………	895
五	496	昭和6年5月29日	三二八	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	中国側財政当局の統稅徵收要求に對する我が 方根本方針決定方請訓……………	544

昭和六年(一九三二)六月

五	598	昭和6年5月28日		武居在華日本紡績同業會委員長より 谷亜細亞局長宛	鐵道運賃差別の完全撤廃方請願……………	644
二	169	昭和6年5月28日	二四	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛(電報)	中国巡警三姓堡において水路工事中の朝鮮人 を拘禁・毆打について……………	179
五	495	昭和6年5月27日	三二六	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	臧主席に對し統稅員の駐在不可を申し入れ同 主席からは生産高全部の納稅を條件に地方的 解決方申し出について……………	542
五	493	昭和6年5月26日	四三	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	満鉄による強制通關実行に同意について……………	541
五	494	昭和6年5月26日	四四	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	大連海關より六月一日以降転口稅の課稅につ き同意を求め来るについて……………	542
八	847	昭和6年5月25日	二一	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛(電報)	付記 通商局第一課提案(年月日不明) 中国における燐寸統制問題に對する意見……………	895
一	84	昭和6年5月23日	機密五五〇	在間島岡田總領事より 幣原外務大臣宛	日中官憲連絡協調に關する啓和竜果長との會 談内容について……………	102
五	492	昭和6年5月23日	六五	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛(電報)	分経理処の付屬地内設置は不可、印花貼用代 行は日本商側が自発的に行う場合のみ黙認方 訓令……………	894
六	650	昭和6年5月23日	四六九	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	統稅に關しては一切の内國稅免除を條件とし 具申……………	540
八	846	昭和6年5月22日	機密公 三三〇	在吉林石射總領事より 幣原外務大臣宛	財政顧問派遣の遅延が宋子文等の心理に及ぼ す影響等充分考慮に入れ果斷を以て進捗方要 請……………	705
六	649	昭和6年5月22日	一八五	在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	張作相による吉林省党部の活動狀況および今 後の活動振りにつき報告……………	839

五	五	五	二	五	二	二	二	二	八	一	二			二	一	二	五	九	五	九	二	二	五	五	五
511	510	512	179	509	175	178	177	176	850	86	174			173	85	172	508	948	507	990	171	170	506	505	504
昭和6年6月6日	昭和6年6月6日	昭和6年6月6日	昭和6年6月6日	昭和6年6月6日	昭和6年6月5日	昭和6年6月5日	昭和6年6月5日	昭和6年6月5日	昭和6年6月(5)日	昭和6年6月4日	昭和6年6月4日			昭和6年6月4日	昭和6年6月4日	昭和6年6月4日	昭和6年6月3日	昭和6年6月3日	昭和6年6月3日	昭和6年6月3日	昭和6年6月3日	昭和6年6月(3)日	昭和6年6月3日	昭和6年6月3日	
五〇	四九	三四八	三〇	一九一	一二六	二九	二八	三一	一九八	三四二	二七			三四一	一二五	二六	四九六	四九二	四九一	四九〇	二、五	二五	三三九	四一	一二三
塚本閣東長官より 幣原外務大臣宛(電報)	塚本閣東長官より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在中国重光臨時代理公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在奉天林総領事宛(電報)	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國矢野公使館参事官より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛(電報)			在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事宛(電報)	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在安東米沢領事宛(電報)	幣原外務大臣より 在奉天林総領事宛(電報)
明について	現行税率にて通関方を大連税関に承諾させる こと困難につき当面の方策に關し意見具申	東北石炭に対する新輸出税賦課問題に關し 明治四十四年の協定維持方につき意見具申	万宝山問題は日本人東北進出の試金石であり 工事を一気に成就し粘り強く交渉すべき旨意 見具申	認し難き旨を説明の上従来の税率による通関 交渉方訓令	張作相を鞭撻の上本問題の円満解決方に尽力 ありたき旨訓令	伊通河堰止め工事の一時的中止方現地警察官 に命令について	張作相による事件の円満解決命令要請に關し 長春県長との会談について	施主任に省政府より長春県長に問題の平和的 解決を至急訓令發出申入れについて長春領事 宛通達	終緊張していた旨湯爾和の内話について	我が方は中国側の榊原農場譲渡承認要請を拒 否について	警察官五名を水路工事現場へ増派について			張作相が日中軍警の同時撤退に同意表明の旨 長春領事に通報	真相報告方訓令	榊原農場を中国側に売渡したとの情報につき 真相報告方訓令	中国側の強硬態度に対抗のため警察官増援に つき請訓	大連は転口税の適用を受け船荷証券を必要と するも香港は純然たる外国なるため不適用と の張福運言明について	王外交部長日中間の大使交換を提議について	張福運が撫順煙台炭坑議定書および滿州五案 件に關する協定は最惠国を規定するのみと主 張について	外交部長より公文にて税関密輸取締り区域の 境界を十二海里に正式規定の旨申越しについ て	中国側馬隊派遣に關し長春県長に抗議、円満 解決方申し入れについて吉林総領事宛報告	本件紛擾の背景ならび中国側官憲による朝鮮 人農民十名の長春連行について	關東州消費中国産品は沿岸貿易品として取り 扱われざる限り大連関告示に反対の旨意見具 申	統税に關する今後の方針につき訓令
557	557	558	187	556	184	186	185	184	896	104	183			182	104	181	555	1030	554	1066	181	180	553	552	551

六	八	二	二	八	六	五	八	五	八	二	八
654	858	184	185	857	653	517	856	516	855	183	854
昭和6年6月13日	昭和6年6月13日	昭和6年6月12日	昭和6年6月12日	昭和6年6月12日	昭和6年6月11日	昭和6年6月11日	昭和6年6月11日	昭和6年6月10日	昭和6年6月10日	昭和6年6月10日	昭和6年6月10日
五二九	五二七	一二九	三四	三〇	一二三	五二四	五二〇	五四	二〇三	合一五	二〇〇
幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より
銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について
707	903	193	195	902	707	564	901	563	900	191	900

八	五	二	二	八	九	六	五	五	二	八	六
853	515	182	181	852	949	652	514	513	180	851	651
昭和6年6月10日	昭和6年6月9日	昭和6年6月9日	昭和6年6月9日	昭和6年6月19日	昭和6年6月9日	昭和6年6月9日	昭和6年6月8日	昭和6年6月8日	昭和6年6月8日	昭和6年6月7日	昭和6年6月7日
一九七	機密公 二五一	三五	三一	二〇三	一九三	九三	五一六 關機高	五二二	三五一	五〇七	一九四
幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より
銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について	銀問題開催の意向なき旨談話について
899	561	190	189	897	1031	706	560	559	188	897	705

五	二	八	八	五	一	一	二	五	五	五	五	五	一	六	五	二	八	二	二
524	190	860	914	523	89	88	189	522	521	520	519	518	87	655	599	188	859	187	186
昭和6年6月22日	昭和6年6月22日	昭和6年6月22日	昭和6年6月20日	昭和6年6月20日	昭和6年6月19日	昭和6年6月19日	昭和6年6月18日	昭和6年6月18日	昭和6年6月18日	昭和6年6月18日	昭和6年6月18日	昭和6年6月17日	昭和6年6月17日	昭和6年6月17日	昭和6年6月17日	昭和6年6月17日	昭和6年6月16日	昭和6年6月16日	昭和6年6月15日
五六四	三八三	一〇一	二二五	二〇八	二二三	二二四	三七八	五四七	五四二	五四一	五四〇	五四三九	合三四三	二〇四	二〇二	三六	三七七	三六九	三六六
幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	在廣東須磨總領事代理より	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	在中國矢野公使館參事官より	幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	在南京上村領事より	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	付記 六月二十二日発在廣東須磨總領事代理より幣原外務大臣宛電報号外	在中國重光臨時代理公使宛(電報)	在中國重光臨時代理公使宛(電報)	在中國矢野公使館參事官より	幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	在南京上村領事より	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
關機高	關機高	關機高	關機高	關機高	關機高	關機高	關機高	關機高	關機高	關機高	關機高	關機高	關機高	關機高	關機高	關機高	關機高	關機高	關機高
張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告	張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告	張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告	張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告	張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告	張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告	張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告	張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告	張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告	張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告	張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告	張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告	張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告	張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告	張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告	張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告	張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告	張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告	張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告	張学良の病状、東北軍の動静、日中衝突事件等に関する報告
573	202	904	989	571	108	107	201	571	570	567	566	565	106	105	708	645	199	904	199

七	798	昭和6年6月30日	三九九	在南京太田領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	連合問題に關し中国側は連合の遺憾表明、佐々木の自発的転動にて事態解決の意向について	836
二	194	昭和6年6月30日	四一	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	中国側は現場における衝突を避ける方針との施履本の談話につき長春領事宛通報	206
五	534	昭和6年6月29日	五八三	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	張閣務処長に抗議付での新税納付を説得したものの同意せしめ得ざる状況について	583
五	533	昭和6年6月29日	五八五	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	特別協定の効力に關し日本側主張を認めるまで旧税納付の承認方中国へ要求について	583
五	532	昭和6年6月29日	二二七	幣原外務大臣より 在中国重光臨時代理公使宛(電報)	中国側が撫順煙台炭の税率を特殊協定によるものとして我が方要求を拒絶した先例について	582
五	531	昭和6年6月29日	二二六	幣原外務大臣より 在中国重光臨時代理公使宛(電報)	中国側に撫順煙台炭抗議定書の解釈に關し再反駁方訓令	580
五	530	昭和6年6月27日	六二	塚本閣東長官より 幣原外務大臣宛(電報)	東北石炭輸出税適用に關し強制通関の方針を執り先方の出口を見てさらに対策考案方意見を具申	579
四	397	昭和6年6月27日	機密二〇九	在局子街田中副領事より 幣原外務大臣宛	間島在住朝鮮人に対する国民政府、東北当局の対応に關し新任延吉県長の内話について	449
二	193	昭和6年6月26日	四三	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛(電報)	堰止工事二十六日再開したが妨害なく翌日には完了の予定について	206
八	915	昭和6年6月26日	二四一	在広東須磨總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	広東政府に対する日本政府の方策および同政府要人の渡日に対する回答振りにつき請訓	989
二	192	昭和6年6月26日	三九二	在奉天森島總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	張作相より峯旗に対し日本側が工事強行すれば事態重大化すると警告について	204
五	529	昭和6年6月26日	三九一	在奉天森島總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	財政庁と満鉄との間で納税手続取極文案決定し二三日中に解決の見込みについて	578

二	191	昭和6年6月25日	四二	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛(電報)	周籌備処長に中国側農民平静化につき堰止実行の上朝鮮人の水田経営承認を旨申し入れについて	203
八	862	昭和6年6月25日	二二六	在広東須磨總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	広東側の武器徴達に關し各国商人との売買状況につき調査報告	908
五	528	昭和6年6月25日	合三五四	幣原外務大臣より 在ハルビン大橋總領事、在吉林石射總領事、在安東米沢總領事、在奉天林石射總領事、在鄭家屯大和久領事宛(電報)	農産品の輸入税引上げの議あるところ日本人関係業者に及ぼす影響など取調べ回報方訓令	578
一	90	昭和6年6月25日	一一〇	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛(電報)	我が方の安東密輸取締り励行に鑑み巡緝員制度廃止方を総稅務司に進言した旨ピール談話について	108
五	527	昭和6年6月24日	五九	塚本閣東長官より 幣原外務大臣宛(電報)	関東州における特權維持のためにも戻税規定必要な旨意見具申	576
四	395	昭和6年6月24日	機密二七五	在濟南西田總領事より 幣原外務大臣宛	東拓対濟南電話公司訴訟事件は高等法院で東拓側の全面敗訴となつた旨報告	447
四	396	昭和6年6月24日	機密二〇四	在局子街田中副領事より 幣原外務大臣宛	商埠地在住朝鮮人に対する中国側の法權行使への抗議と我が方対応について	448
五	526	昭和6年6月24日	一四三	在奉天林石射總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	無順炭の大連通関に關し宋子文と懇談により問題の紛糾を避くるべく具体案指示について	575
五	525	昭和6年6月24日	一四二	在奉天林石射總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	閔稅協定の特殊協定への影響に關する我が方論拠として既報以外の分追加について	574
八	861	昭和6年6月23日	機密五二二	在奉天林石射總領事より 幣原外務大臣宛	吉林学生の氣風に關する峯旗滿鉄囑託の報告	905
六	656	昭和6年6月23日	一三五	在米田出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	調概ね好意的の旨報告	711
八	928	昭和6年6月22日		高木中日実業株式会社副總裁より 谷亜細亞局長宛	閔錫山の出馬を求める西北、山西軍の使者往来に關する情報について	1013

昭和六年（一九三二）七月

日付索引																															
五	五	五	八	五	五	二	二	二	八	九	二											二	九	二	二	八	二	二	五	五	五
535	536	537	195	196	916	197	198	992	199	200	991	863	201	202	203	538	539	540	864	541	542	204									
昭和6年7月1日	昭和6年7月1日	昭和6年7月1日	昭和6年7月1日	昭和6年7月1日	昭和6年7月2日	昭和6年7月2日	昭和6年7月2日	昭和6年7月2日	昭和6年7月2日	昭和6年7月2日	昭和6年7月2日	昭和6年7月2日	昭和6年7月3日	昭和6年7月3日	昭和6年7月3日	昭和6年7月3日	昭和6年7月3日	昭和6年7月3日	昭和6年7月3日	昭和6年7月3日	昭和6年7月4日	昭和6年7月4日	昭和6年7月4日								
二二〇	五八九	五九〇	四七	四八	三七	四九	五〇	二二三	五一	五二	二二二	機密七五八	一四	二八	五四	二二四	合三七一	合三七三	關機高六〇六三	五九六	五九七	五六									
幣原外務大臣より	在中国重光臨時代理公使宛（電報）	在中國重光臨時代理公使宛（電報）	在長春田代領事より	幣原外務大臣宛（電報）	幣原外務大臣より	在長春田代領事宛（電報）	幣原外務大臣宛（電報）	幣原外務大臣より	在長春田代領事宛（電報）	在長春田代領事より	幣原外務大臣宛（電報）	在ハルビン大橋總領事より	幣原外務大臣より	在長春田代領事宛（電報）	在長春田代領事より	幣原外務大臣宛（電報）	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛（電報）	中谷関東庁警務局長より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より	在長春田代領事より									
東北石炭輸出税納付方に関するは先電訓令の具体案弁法で妥結尽力方訓令	戻税告示に關しては我が方の確乎たる態度を示し冷静に処理しつつある状況について	東北石炭輸出税納付方に関する日本側反駁文中の冒頭に外交部長覚書引用について	中国側農民の水路破壊開始により朝鮮人農民に同工事を中止させ目下対策考究中について	籌備処外交科長に農民鎮圧を要請したが誠意なく警官増派を通告について	広東政府への対応および同政府要人の渡日に對する回訓	中国農民の水路破壊に對し警官十名増派について	中国農民五百名現場に押寄せ双方衝突し警官急派要請に接している旨報告	中国側三海里採用に關し敵重我が方の趣旨申し入れ結果回示方訓令	現場の状況不明につき警察官増派のうえ中国官憲に善処申入れについて	工事破壊の中國農民と我が方警官衝突し双方発砲せしも被害無き状況について	領海三海里説を堅持方訓令	日本小学校投石事件に關し中国側警察に警戒方要求について	事態の平和的解決に向け中国側をして交渉再開に誠意を示す様尽力方訓令	万宝山事件に關し朝鮮人農民保護および不必要に事態を拡大悪化させぬよう措置方訓令	万宝山派遣の日本側警官四十六名に達し石射總領事と撤退措置等打ち合せの所存について	東北石炭の強制通関による影響並び中国側報復対策に關し考究方訓令	六月分以降の新旧税率差額納入しない旨満鉄側に命令方訓令	中国側において我が方提案弁法に応ぜざる場合は強制通関実行する外なきにつき予め準備方訓令	奉天票下落の原因および影響について	宋子文が強制通関により日中兩國間の悪感情を向上しないようしたき旨談話について	横竹をしてメーズに對し宋子文との間で日本側が旧税納付に至った旨説明について	日本警察官撤退問題に關する籌備処外交科長との交渉状況について									
585	586	587	207	207	991	208	209	1067	209	209	1066	909	210	211	211	211	589	590	591	909	591	592	212								

一	八	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

六	七	二	七	二	五	二	二	七	五	二	五	二	七	二	五	二	七	二	七	六
657	671	220	672	222	545	223	546	673	225	226										
昭和6年7月9日	昭和6年7月9日	昭和6年7月9日	昭和6年7月10日	昭和6年7月10日	昭和6年7月10日	昭和6年7月10日	昭和6年7月11日	昭和6年7月11日	昭和6年7月11日	昭和6年7月11日										
六一三	一二七	二三一	三〇九	六一六	合一二	四九	二二三	六二一	五〇	六三										
在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在ハルビン大橋總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛(電報)	在上海村井總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛(電報)										
別電	別電	別電	別電	別電	別電	別電	別電	別電	別電	別電										
七月十四日發在中國重光臨時代理公使より 右取纏め内容	七月十一日發在中國重光臨時代理公使より 日本側正式回答文案	七月十一日發在中國重光臨時代理公使より 日本側正式回答文案	七月十一日發在中國重光臨時代理公使より 日本側正式回答文案	七月十一日發在中國重光臨時代理公使より 日本側正式回答文案	七月十一日發在中國重光臨時代理公使より 日本側正式回答文案	七月十一日發在中國重光臨時代理公使より 日本側正式回答文案	七月十一日發在中國重光臨時代理公使より 日本側正式回答文案	七月十一日發在中國重光臨時代理公使より 日本側正式回答文案	七月十一日發在中國重光臨時代理公使より 日本側正式回答文案	七月十一日發在中國重光臨時代理公使より 日本側正式回答文案										
598	712	228	725	229	595	230	596	726	233	223										
朝鮮人の排華問題に關する当面の対策意見に つき朝鮮總督宛電報	宋子文に對し財政顧問として津島内諾の旨を 内報し選任の遅れた事情説明について	京城郊外における朝鮮人中國人間衝突事件に 關する總督府側詳報について	朝鮮排華事件に關し在上海大韓民國臨時政府 外交部長が上海の中國側當局を歴訪しかつ中 國紙に聲明書發表について	朝鮮内華僑襲撃事件に對する朝鮮總督府の措 置に關する外交部への回答につき請訓	營業稅拒絶による日本商の苦境に對し手数料 等の名義で護照發給を裏面より折衝する様態 について	施主任より万宝山問題は省政府が独自に地方 的解決を進めること困難な旨の電話について	東北石炭輸出税問題に對する中國側態度變更 につき強硬姿勢での交渉方訓令	朝鮮排華事件に對する國民政府および党部方 面の意向に關し報告	吉林省政府との万宝山問題交渉一旦打ち切りに ついて	張作相副官孫が万宝山問題交渉に關し作相に 復命して円満解決方に尽力したいと内話につ いて										

二	九	二	五	二	五	二	八	二	二	二
241	954	240	550	239	549	238	919	237	234	236
昭和6年7月18日	昭和6年7月18日	昭和6年7月17日	昭和6年7月17日	昭和6年7月17日	昭和6年7月17日	昭和6年7月17日	昭和6年7月17日	昭和6年7月16日	昭和6年7月16日	昭和6年7月16日
三〇	二四五	機密六〇四	機密五九八	普通四三	六五〇	六二	五五	一四五	六一	六二
幣原外務大臣より 在長春田代領事宛(電報)	幣原外務大臣より 在中国重光臨時代理公使宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛	幣原外務大臣より 江中国臨時代理公使宛	別電 七月十七日発在中国重光臨時代理公使より 右覚書(英文)	在中國重光臨時代理公使宛(電報)	在吉林石射總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在香港吉田總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射總領事より 幣原外務大臣宛(電報)
施履本に提出した万宝山問題解決案が石射領事の責任にて提案した経緯につき長春領事宛通報	排日の空氣濃厚の状況に鑑み王外交部長の小幡公使不承認の事実なき旨の声明をもって作資公使の承認方意見具申	朝鮮人問題に關する我が方回答手交の際王外交部長が中央において交渉の意向表明について	小幡公使不承認の事実なき旨の聲明のうえ蔣作資公使任命の推進希望との王外交部長の談話について	朝鮮事件の影響等につき王外交部長との会谈要旨報告	陳友仁渡日に際し外務大臣との懇談取次ぎ方要請について	万宝山事件に關して東北政務委員会および吉林省政府が解決に當るべき旨等張學良の訓令について	万宝山事件に關して東北治安維持に対して謝意表明と同時に在東北朝鮮人保護方要請について	張作相が万宝山事件に關し地方的解決に異議なく吉林にて本件解決決法研究方を希望について	朝鮮、万宝山事件に對しハルビンでは排朝鮮より排日に轉向しつつある状況について	臧主席を往訪し朝鮮排華事件に際し東北朝鮮人保護に尽力方謝意表明等について
256	1034	250	601	249	600	249	994	245	242	244

九	九	二	七	八	二	二	七	二	七	
953	952	235	679	918	233	232	231	678	230	677
昭和6年7月16日	昭和6年7月16日	昭和6年7月16日	昭和6年7月16日	昭和6年7月16日	昭和6年7月15日	昭和6年7月15日	昭和6年7月15日	昭和6年7月15日	昭和6年7月15日	昭和6年7月14日
六四五	六四四	六四三	六四一	二九三	關機高支 七七三四ノ二	四四一	四四〇	一三三	四三四	三二〇
在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在広東須磨総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	中谷関東庁警務局長より 永井外務次官宛	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在ハルビン大橋総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)
排日の空氣濃厚の状況に鑑み王外交部長の小幡公使不承認の事実なき旨の声明をもって作資公使の承認方意見具申	小幡公使不承認の事実なき旨声明のうえ蔣作資公使任命の推進希望との王外交部長の談話について	朝鮮人問題に関する我が方回答手交の際王外て	朝鮮事件の影響等につき王外交部長との会談要旨報告	陳友仁渡日に際し外務大臣との懇談取次ぎ方要請について	万宝山事件に關して東北政務委員会および吉林省政府が解決に當るべき旨等張學良の訓令について	張作相が万宝山事件に關し地方的解決に異議なく吉林にて本件解決弁法研究方を希望について	張作相を訪問し東北治安維持に対して謝意表明と同時に在東北朝鮮人保護方要請について	朝鮮、万宝山事件に對しハルビンでは排朝鮮より排日に輒向しつづつある状況について	臧主席を往訪し朝鮮排華事件に際し在東北朝鮮人保護に尽力方謝意表明等について	上海地方における排日問題具体化に關する中国知識人並びに日本人商社一部の予測等について
1033	1033	243	731	993	241	240	239	730	238	729

二	三	四	七	七	七	八	五	七	八	九
245	283	401	685	684	683	931	551	682	920	955
昭和6年7月24日	昭和6年7月24日	昭和6年7月23日	昭和6年7月23日	昭和6年7月23日	昭和6年7月23日	昭和6年7月23日	昭和6年7月22日	昭和6年7月22日	昭和6年7月22日	昭和6年7月22日
六四	三〇一	発一六一	六七七	三四四	六七二	六六九	二四九	六六七	六六五	六六六
幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	三橋吉林日本居留民会長より 在吉林石射総領事宛	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	三橋吉林日本居留民会長より 在吉林石射総領事宛	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	三橋吉林日本居留民会長より 在吉林石射総領事宛	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	三橋吉林日本居留民会長より 在吉林石射総領事宛	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)

小幡公使アグレマン拒否取消し声明につき王
外交部長と合意確認の英文書簡交換について
王、宋など陳友仁の渡日に神経質になってい
る際その待遇には注意を要する旨意見具申
上海を中心とする排日貨運動抑制方外交部
長に申し入れについて
満鉄側が二重課税による減収を憂慮してい
るため我が方主張通り解決方訓令
別電 七月二十二日発幣原外務大臣より
在中國重光臨時代理公使宛第二五〇号
二重課税問題に対し大連海関において戻税
制度存続を主張する理由について
宋子文に対し閩が閩東州を離れたとの情報
が事実でない旨回答について
王外交部長に最近の排日運動阻止に必要な
措置方要請について
上海反日援僑会主催の朝鮮在留避難者追悼
大会の情況に關し報告
宋子文に排日運動阻止を要請の際かえって
東政府要人の日本訪問を批難されたるにつ
いて
治外法權撤廃は時期尚早につき断固拒絶方
陳情について
中村大尉一行遭難説の記事差止めにつ
いて
中国側は日本警察の無条件撤退の外形を
とり
たき意向につき対案上申について

259

314

455

737

736

735

1016

605

604

734

995

1035

五	二	二	八	七	二	四	四	一	八	七
552	244	243	930	681	242	399	400	92	929	680
昭和6年7月22日	昭和6年7月21日	昭和6年7月21日	昭和6年7月21日	昭和6年7月21日	昭和6年7月19日	昭和6年7月18日	昭和6年7月18日	昭和6年7月18日	昭和6年7月18日	昭和6年7月18日
五〇	四五八	一九	二四七	二四六	七一	機密三〇八	機密八〇三	機密四一六	六五四	三三〇
幣原外務大臣より 塚本関東長官宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛(電報)	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在濟南西田総領事より 幣原外務大臣宛	在間島岡田総領事より 幣原外務大臣宛	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣より 塚本関東長官宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛(電報)	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在濟南西田総領事より 幣原外務大臣宛	在間島岡田総領事より 幣原外務大臣宛	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣より 塚本関東長官宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛(電報)	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在濟南西田総領事より 幣原外務大臣宛	在間島岡田総領事より 幣原外務大臣宛	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣より 塚本関東長官宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛(電報)	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在濟南西田総領事より 幣原外務大臣宛	在間島岡田総領事より 幣原外務大臣宛	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)

上海市商會が対日經濟斷交を議決の趣につ
いて
宋子文より日本人の閩山西行援助説の真偽
問合せについて
安東において小口密輸増加傾向の背景につ
いて
朝鮮事件に対する間島中国側動向報告
東拓対濟南電話公司訴訟事件に關し東拓側
が第二審判決を不服とし最高法院に上告につ
いて
中国側の百天地に浸水被害を受けたとの風説
に關し朝鮮人民會長より現場の實情等聴取に
ついて
王外交部長および宋財政部長等に反日運動抑
制と中国側新聞の煽動的記事取締につき申し
入れ方訓令
閩に対し閩東州を政治的策源地にせざる様
子で説示しあるについて
万宝山事件に關する過渡的弁法協定方訓令
朝鮮人の帰化許可と交換的に居住、水田耕作
を束縛する奉・吉兩省の法令を撤廃させる
き旨意見具申
閩東州消費の中國産品に対する新輸出税課税
を認め本件告示承認方訓令

608

258

257

1016

733

256

452

451

453

113

1015

733

三	291	昭和6年7月29日	一四八	在ハルビン大橋総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	中村大尉一行の諸情報を林総領事に報告につ いて	321
三	290	昭和6年7月29日	一五六	幣原外務大臣より 在奉天林総領事宛(電報)	中村大尉一行の遭難に關し証拠探索に努力方 訓令	321
五	553	昭和6年7月28日	機密六一五	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛	藩陽税捐局による放行単の分割使用をめぐる 不法課税に対し抗議について	609
七	689	昭和6年7月28日	四九八	在漢口坂根総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	漢口における今回の排日排貨運動の動向につ いて	741
四	402	昭和6年7月28日	四八一	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	藩陽における中国民間各団体連名の万宝山、 朝鮮事件に關する宣伝ビラ頒布について	455
三	289	昭和6年7月28日	四七七	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	軍側は中村大尉事件を極秘扱いにつき中国側 との交渉は見合せ中との鄭家屯領事報告	320
二	249	昭和6年7月28日	二〇	幣原外務大臣より 在吉林石射総領事宛(電報)	我が方警官撤退に關する交渉は東三省との間 で地方的解決を見る様尽力方訓令	265
三	288	昭和6年7月27日	三一	在チチハル清水領事より 幣原外務大臣宛(電報)	中村大尉に關する情報提供者の秘密保持を林 総領事に依頼について	319
二	248	昭和6年7月27日	四七六	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	臧主席に朝鮮人問題に關する過渡的弁法交渉 促進の急務なるを説得について	265
七	688	昭和6年7月27日	六九六	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	排日運動の現況と今後の見通しについて	740
三	287	昭和6年7月27日	一五三	幣原外務大臣より 在奉天林総領事宛(電報)	中村大尉遭難の事実取調方について	319
三	286	昭和6年7月27日	二九	在チチハル清水領事より 幣原外務大臣宛(電報)	中村大尉一行の諸情報を林総領事に報告につ いて	316
				別電 七月二十六日発在チチハル清水領事より 行銃殺に關する王羽田共先の情報	中村大尉一行の諸情報を林総領事に報告につ いて	318
					中村大尉遭難の事実取調方について	319
					排日運動の現況と今後の見通しについて	740
					臧主席に朝鮮人問題に關する過渡的弁法交渉 促進の急務なるを説得について	265
					中村大尉に關する情報提供者の秘密保持を林 総領事に依頼について	319
					我が方警官撤退に關する交渉は東三省との間 で地方的解決を見る様尽力方訓令	265
					軍側は中村大尉事件を極秘扱いにつき中国側 との交渉は見合せ中との鄭家屯領事報告	320
					藩陽における中国民間各団体連名の万宝山、 朝鮮事件に關する宣伝ビラ頒布について	455
					漢口における今回の排日排貨運動の動向につ いて	741
					藩陽税捐局による放行単の分割使用をめぐる 不法課税に対し抗議について	609
					中村大尉一行の遭難に關し証拠探索に努力方 訓令	321
					中村大尉へハルビン総領事館より発給の護照 に關し取扱ひ注意の必要について	321
二	247	昭和6年7月26日	六五	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	中国側は我が方の警官撤退さえ見れば一先ず 成功との意向と推測されるについて	264
八	932	昭和6年7月25日		塚本閣東長官より 幣原外務大臣宛(電報)	大日本航空株式会社大連出張所支配人元陸軍 少佐麦田の飛行機による閩の福建省援助計画に ついて	1017
六	658	昭和6年7月25日	重一機密 六二	幣原外務大臣より 在濟南西田総領事宛	中日実業経営救済のため差当り月額一萬元位 の利払い実行を省当局に折衝方訓令	712
七	687	昭和6年7月25日	商四六	在上海横竹商務参事官より 幣原外務大臣宛(電報)	上海における排貨運動は表面進捗せざるもそ の組織進行と共に奥地もこれに倣ひ漸次深刻 化の傾向について	739
七	686	昭和6年7月25日	三五一	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	日本棉花会社製の綿糸が反日援僑会検査員に 抑留された事件に対し市長等に同品返還方厳 重抗議について	738
三	285	昭和6年7月25日	四六九	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	満州日報が屯墾軍が中村大尉一行を殺害との 記事掲載につき真相調査方チチハル領事宛通 達	316
九	996	昭和6年7月(25)日	六八六	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	揚子江氾濫による水害状況につき漢口総領事 より報告	1074
三	284	昭和6年7月25日	合四二九	幣原外務大臣より 在奉天林、在天津桑島、在上海村井各 総領事宛(電報)	中村大尉行方不明事件に關する新聞報道等禁 止方について	315
二	246	昭和6年7月24日	機密公 三一五	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛	王外交部長よりの万宝山事件に關する抗議訳 文写送付について	261
八	866	昭和6年7月24日	亞二機密合 二三一一	永井外務次官より 堀切拓務次官、小磯陸軍省軍務局長宛	宇垣新任朝鮮總督の統治声明並び日本の對東 北政策根本方針内査に關する中国側の密令につ いて	914

九	956	昭和6年7月29日	四五〇	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	蔣公使任命の承諾および重光公使昇格につき 王外交部長に通報について	1035
三	292	昭和6年7月30日	三四	在チハル清水領事より 幣原外務大臣宛(電報)	屯墾公司および遼寧省官憲が日本人とモンゴル王族との接近を警戒について	322
八	921	昭和6年7月30日	二六六	幣原外務大臣より 在中国重光臨時代理公使宛(電報)	日中関係に関する陳友仁との会談について	995
八	922	昭和6年7月30日	四七三	別電 七月三十日発幣原外務大臣より在中国重光臨時代理公使宛第二六七号		997
九	997	昭和6年7月30日	五〇二	付記 七月二十九日幣原外務大臣陳友仁外交部長会談 第一回会談録		999
三	293	昭和6年7月31日	四八六	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	廣東政府の日本における武器購入説に関する 重光宛南京政府外交部の覚書について	1001
八	867	昭和6年7月31日	二七六	在漢口坂根總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	漢口地方の水害状況および中国側当局の対応 について	1074
一	93	昭和6年8月1日	一一一	別電 七月三十一日着在漢口坂根總領事より幣原外務大臣宛第五〇三号 日本租界の状況について		1075
三	294	昭和6年8月2日	四九〇	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	中村大尉は護照二枚を所持について	322
三	295	昭和6年8月3日	四九一	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	北方の軍事情勢につき出先各方面に注意方重 細亜局長に電報依頼	916
二	250	昭和6年8月3日	一五九	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛(電報)	安東付属地内における巡緝員制度の廃止を決 定した旨ビル談話について	115
二	251	昭和6年8月3日	七〇	在吉林石射總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	石原参謀の中村大尉事件を軍側にて担当方申 し出に不同意を回答について	323
二	252	昭和6年8月4日	二七三	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	軍側が現地調査決定との鄭家屯領事報告につ いて	324
九	957	昭和6年8月4日	七一五	幣原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛(電報)	朝鮮人圧迫中止を嚴重戒飭方要求すべき旨訓 令	267
九	958	昭和6年8月4日	四六〇	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	鍾特派員と会談の結果我が方警察官の撤退を 行うよう長春領事宛電報	268
九	959	昭和6年8月4日	四六一	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	朝鮮事件に関する王外交部長の第二回抗議に 対する回答内容につき訓令	269
七	690	昭和6年8月4日	七一六	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	蔣主席が重光公使昇格を歓迎するとの電命宋 子文より通報について	1036
七	691	昭和6年8月4日	機密公 三二八	在中國重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛	重光、蔣公使のアグレマンは各々同意ないし 決定の日付としたい旨の王外交部長の意向に ついて	1036
八	868	昭和6年8月4日	機密公 三三一	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛	國務會議が重光公使へのアグレマンを決定に ついて	1037
二	253	昭和6年8月4日	官秘一一〇	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛	排日および日貨抵制問題に関する我が方の立 場を闡明にしおくため国民政府に申し入れに 関し請訓	742
八	923	昭和6年8月5日	二七八	今井田總督府政務總監より 堀切拓務次官宛 幣原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛(電報)	排日運動に対する蔣介石の態度に関する情報 報告	744
八	923	昭和6年8月5日	別電	八月五日発幣原外務大臣より在中國重光臨時代理公使宛第二七九号 東北日本權益に関する陳友仁への説明要領	東北各省中国側銀行団代表による東北幣制会 議開催決定について	917
二	253	昭和6年8月4日	官秘一一〇	今井田總督府政務總監より 堀切拓務次官宛	在朝鮮中国居留民に対する我が方慰問金を中 国側拒否問題の経過について	271
八	923	昭和6年8月5日	二七八	幣原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛(電報)	東北日本權益に関する陳友仁との会談につい て	1001
八	923	昭和6年8月5日	二七八	幣原外務大臣より 在中國重光臨時代理公使宛(電報)		1002

八	九	七	八	二	九	七	八	八	八	八	八
941	940	694	998	257	939	693	938	937	936	935	934
昭和6年8月10日	昭和6年8月10日	昭和6年8月10日	昭和6年8月8日	昭和6年8月8日	昭和6年8月8日	昭和6年8月8日	昭和6年8月8日	昭和6年8月8日	昭和6年8月8日	昭和6年8月8日	昭和6年8月7日
七三九	五四	第七三八	機密八六二	八四	四九九	四九八	七三六	五三	二八四	八八	八六
幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	在長春田代領事より	幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より	幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より	在奉天林總領事より
閩脱出につき責任者の嚴重処分方具申について	閩脱出の記事差止をせず成行注視の方針について	張群上海市長の排日問題に対する意向に關し報告	漢口水害に關する領事団會議について	我が方は万宝山派遣警察官撤退を無事完了した旨吉林總領事に通報について	閩脱出については真相を嚴重に調査の上責任者を処分し禍根を將來に絶つを要する旨意見具申	遼寧省側の排日運動取締りについて	張群市長より閩の飛行機による山西帰還の情報につき質問ありたるが事実無根と否定について	閩脱出に我が軍部関与の記事掲載禁止について	閩脱出に日本官憲の関与はない旨宋に内報方訓令	閩の大連脱出に關東軍參謀および予備航空少佐の関与せしは遺憾とその経過報告について	閩脱出に關し麦田以外に軍の関与あるが如き新聞報道取締り方につき打合せ願いたきについて
1022	1022	747	1076	275	1022	747	1021	1021	1020	1020	1018

四	二	二	八	一	二	一	七	五
403	256	255	933	94	254	95	692	554
昭和6年8月7日	昭和6年8月7日	昭和6年8月(7)日	昭和6年8月6日	昭和6年8月6日	昭和6年8月6日	昭和6年8月6日	昭和6年8月5日	昭和6年8月5日
一三九	四七三	四九五	亞一機密 五五	八二	七二三	機密九四九	七二三	七二三
在濟南西田總領事より	在南京上村領事より	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	在長春田代領事より	幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井總領事より	在中國重光臨時代理公使より	在中國重光臨時代理公使より
幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
閩脱出に日本官憲の関与はない旨宋に内報方訓令	汪駐日公使の新聞記者に対する朝鮮排華事件および万宝山事件等に關しての談話要領について	遼寧省當局は朝鮮人驅逐密令を否定するも吉林省で驅逐事実あり張作相に嚴談の手筈について	閩が五日未明日本航空大連出張所支配人陸軍將校搭乗の飛行機で大同へ帰着について	中国側は鉄道運賃差別廃止の傾向にあるも膠濟鉄道では差別残存につき撤廃方交渉について	我が警察官撤退後の不安を持つ朝鮮人を慰留並びに同撤退を八日に予定と吉林總領事に通報について	宋子文と面談の際戻税の如き小問題を以て日本側を不必要に刺激しないよう説得について	塩沢第一遣外艦隊司令官が上海反日會検査隊阻止のため所屬各部隊に命令發出について	外國側の東北地方航空事業權益獲得阻止に關して滿鉄の出資如何問ひ合せについて
456	274	274	1018	116	273	117	745	610

付記一 七月三十一日幣原外務大臣陳友仁外交部長會談
第二回會談錄

二 八月三日幣原外務大臣陳友仁外交部長會談
第三回會談錄

三	八	四	八	二	七	七	三	二	二	八	七	八
299	871	404	924	260	699	698	298	259	258	945	697	943
昭和6年8月16日	昭和6年8月15日	昭和6年8月15日	昭和6年8月14日	昭和6年8月14日	昭和6年8月14日	昭和6年8月14日	昭和6年8月14日	昭和6年8月14日	昭和6年8月13日	昭和6年8月13日	昭和6年8月13日	昭和6年8月12日
五〇九	一五〇	一四九		七八	四〇五	四〇四	一六六	七六	二一六四	二五七	二九五	
在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在濟南西田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在濟南西田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在兵庫県知事より 幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在奉天林総領事宛(電報)	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在中国重光公使宛	三浦関東長官代理より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在中国重光公使宛(電報)	河相関東庁外事課長より 守島亜細亜局第一課長宛
中村大尉事件の新聞報道禁止解除について	韓主席に対し石友三渡日の場合は大連を避け られた旨の日本政府意向を申し入れについ	の理由に居留民大会開催方協議について	日本人禁制品取扱事件を治外法権撤廃不可	陳友仁の帰国について	万宝山事件の過渡的解決并法交渉は飽くまで 継続の考えなる旨並び我が方譲歩案考究中に	海軍側の反日行動阻止策につき慎重に行動方 第一遣外艦隊司令官に申入れについて	強硬に排日取締を要求する米里上海商工会議 所会頭より幣原外務大臣宛請願書転達	支えなき旨回訓	交渉進行上有利ならば中村大尉の身分明示差	過要領報告について	万宝山事件の過渡的解決并法に関する交渉経	閩脱出に關する日本向けの通信社電報につい
329	919	458	1009	286	754	753	328	283	275	1027	752	1024

三	八	八	八	七		三	七	一	八
297	944	870	942	696		296	695	96	869
昭和6年8月12日	昭和6年8月12日	昭和6年8月12日	昭和6年8月11日	昭和6年8月11日		昭和6年8月11日	昭和6年8月10日	昭和6年8月10日	昭和6年8月10日
五〇四	七四〇	八		三九七		一六一	機密九六六	五〇一	
在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在濟南西田総領事宛(電報)	幣原外務大臣より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	付記 八月十三日亞細亜局第一課作成 「麦田ノ処罰方ニ関スル件」	幣原外務大臣より 在奉天林総領事宛(電報)	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	内田滿鉄總裁より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)
中村大尉事件に關する交渉は当初より軍人た るの身分を明示して行いたきに付き請訓	閩脱出問題で宋子文、張群に釈明したところ 何れも沈黙で対応について	石友三の日本亡命には異議なきも閩東州亡命 は成るべく避けさせる様仕向け方訓令	鮮總督府警務局長との打合せについて	閩脱出に關する新聞通信取締り方に関する朝 鮮總督府警務局長との打合せについて	反日会検査員による上海日本商の台灣向け麻 袋抑留に対し陸戦隊出動について	中村大尉事件に關する南陸相より本庄軍司令官 宛電報	中村大尉事件に關する軍側激昂の状況を示唆し 早急に解決の必要を中国側に説得方訓令	塩沢第一遣外艦隊司令官と排日貨防止対策に 關し意見交換について	王家楨が張學良よりの伝言として東北・河北 の大連脱出など朝鮮事件報復並び石友三軍および閩北 の東北当局航空事業に対する五百万円支出引受 けは滿鉄財政の実情許さなため不可について
328	1026	918	1024	751	327	326	324	750	120

三	300	昭和6年8月17日	合四七〇	幣原外務大臣より 在奉天林総領事他宛 別電 八月十七日発幣原外務大臣より 上海村井総領事宛第四七一号 中村大尉事件交渉開始に関する新聞発表	中村大尉事件の新聞報道禁止の解除と交渉開始の発表について 在奉天林総領事、在天津田尻総領事代理、在	329
三	301	昭和6年8月17日	五一	幣原外務大臣宛(電報)	中村大尉事件に関し臧達寧省主席に至急真相調査の必要ある旨警告について	330
九	999	昭和6年8月17日	四一四	幣原外務大臣宛(電報)	排日貨運動対策の一環として漢口地方水害救援運動促進につき意見具申	1077
七	700	昭和6年8月17日	四一五	幣原外務大臣宛(電報)	上海における排日貨運動の最近の情勢概括報告	755
八	946	昭和6年8月17日		池田朝鮮總督府警務局長より 谷亜細亞局長宛(電報)	閩脱出に關して軍部と關係あるが如き新聞記事のみ取縮る方針について	1028
一	97	昭和6年8月17日		内田滿鉄總裁より 幣原外務大臣宛(電報)	湯爾和に日本輿論險惡化を伝え鉄道交渉につき新提案を行うより示唆との木村から亜細亞局長宛報告	121
九	1000	昭和6年8月18日	六〇	幣原外務大臣宛(電報)	中国政府が水害被災民救済のため米米政府保有小麦を長期決済条件で買入申込みとの新聞報道について	1078
七	765	昭和6年8月19日	八〇	幣原外務大臣より 在青島堀總領事代理宛(電報)	青島国粋会の組織、活動等および事件の詳細につき報告方訓令	809
三	302	昭和6年8月19日	一六七	幣原外務大臣より 在奉天林総領事宛(電報)	参謀本部付森少佐が臧達寧省主席を訪問威嚇したとの新聞報道につき陸軍側に注意喚起について	331
九	1001	昭和6年8月19日	七五八	幣原外務大臣宛(電報)	水害救済のため宋子文を委員長とする水害賑災委員会設置について	1078
七	764	昭和6年8月19日	一九四	幣原外務大臣宛(電報)	国粋会員と中国人との喧嘩に端を発した暴行事件の顛末につき報告	808

三	303	昭和6年8月19日	五一四	幣原外務大臣宛(電報)	付記 八月十九日警視庁外事課小池警部より相場警視宛電話 中国人による国粋会員暴行事件に関する公電の有無につき問合せについて	809
八	872	昭和6年8月19日	九三	塚本関東長官より 幣原外務大臣宛(電報)	森岡領事より臧主席に中村大尉の身分秘匿につき説明について	331
七	766	昭和6年8月19日		待島青島居留民団行政委員長より 幣原外務大臣宛(電報)	石友三の関東州亡命並びに寄港の際の上陸は共に許可せざることと致したきについて	919
一	98	昭和6年8月20日	五一	幣原外務大臣より 在安東米沢領事宛(電報)	中国人による日本人家屋等暴行事件に関し居留民の生命財産保護につき請願	810
七	768	昭和6年8月20日	八一	幣原外務大臣より 在青島堀總領事代理宛(電報)	安東密輸沒収品帰属関係につき回訓	122
七	770	昭和6年8月20日	合四七九	幣原外務大臣より 在中国矢野公使館参事官 在天津田尻総領事代理宛(電報)	青島暴行事件の迅速な地方的解決につき青島市長と交渉方訓令	811
六	659	昭和6年8月20日	七六六	幣原外務大臣宛(電報)	宋子文が三井大村に対し債務整理交渉の前途日中關係悪化のため妨害を受ける事なきや憂慮している旨内話について	713
三	304	昭和6年8月20日	五一九	幣原外務大臣宛(電報)	柴山顧問より中村大尉事件を張学良に内報方北平に通知について	332
三	305	昭和6年8月20日	五二一	幣原外務大臣宛(電報)	付記 八月二十日発在北平永津公使館付武官補佐官より参謀本部二宮参謀次長宛北中村大尉事件に關し調査の上処置する旨の柴山顧問に対する張学良談話について	333
				在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	中村大尉事件証拠散逸防止のため王翼先を当地付屬地に招致方在チチハル領事宛依頼について	333

九	八	五	七	七	三	一	九	九	二	七	七
1005	925	555	702	777	308	99	1004	1003	263	775	776
昭和6年8月26日	昭和6年8月25日	昭和6年8月25日	昭和6年8月25日	昭和6年8月25日	昭和6年8月25日	昭和6年8月(25)日	昭和6年8月(25)日	昭和6年8月24日	昭和6年8月24日	昭和6年8月24日	昭和6年8月24日
七九七	三八二	七九四	七九三	二〇三	五三三	七九五	七九二	一一二	四九六	二〇二	三七〇
在中国重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在広東須磨総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在青島堀総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在パリ沢田連盟事務局長より 幣原外務大臣宛(電報)	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在青島堀総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国矢野公使館参事官より 幣原外務大臣宛(電報)
青島暴行事件に關し日本人を非難する中国新聞報道について……………1081	陳友仁帰国後の政府委員會議において今回復日中は満足すべきものとの報告について……………1009	二重課税問題につき内田新満鉄總裁と上海にて意見交換したき宋子文の意向について……………611	排日貨運動については朝鮮事件と關係なく中国側に公文を以て申入れの時機と思考せられらるにつき再応證議方稟請……………757	青島暴行事件に対する居留民の対応について……………818	中村大尉事件証人の処遇をチチハル領事宛通達……………334	宋子文の東北行への期待表明について……………123	情の阻隔を融和するとの宋子文の談話について……………1080	中国水害に対する連盟保健機関指導防疫委員派遣方ライヒマンよりドラモンド事務総長へ要請の旨杉村次長内報について……………1079	朝鮮事件の解決条件につき王外交部長より重光公使宛公文……………288	青島暴行事件の損害賠償交渉に際し我が方方針につき請訓……………817	青島暴行事件に至急解決を切望する張學良より胡市長宛電報について……………818

三	七	七	七	九	二	七	三	八	二	七	七	七
307	701	774	773	1002	262	772	306	873	261	771	767	769
昭和6年8月24日	昭和6年8月24日	昭和6年8月23日	昭和6年8月22日	昭和6年8月22日	昭和6年8月21日	昭和6年8月21日	昭和6年8月21日	昭和6年8月21日	昭和6年8月20日	昭和6年8月20日	昭和6年8月20日	昭和6年8月20日
一七一	一三〇	二〇〇	三六八	七八三	公五三七	一九九	五二五	九	三七三ノ二	一九七	一九六	三六七
幣原外務大臣より 在奉天林総領事宛(電報)	幣原外務大臣より 在上海村井総領事宛(電報)	在青島堀総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國矢野公使館参事官より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在青島堀総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在濟南西田総領事宛(電報)	關機高鮮 永井外務次官宛	在青島堀総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在青島堀総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國矢野公使館参事官より 幣原外務大臣宛(電報)
中村大尉事件に關し中国側より共同調査の申し出ありたる場合は拒絶の方針について……………334	排日運動阻止に關し海軍側との連絡協調方につき訓令……………756	青島暴行事件に關し胡秘書長と正式會見遺憾の意表示、将来の保証等で概ね合意について……………816	青島暴行事件の迅速地方的解決につき胡市長に論達方張學良に要請について……………815	青島暴行事件の迅速地方的解決につき胡市長に對し宋子文謝意表明について……………1079	吉林省政府が郝永德設立の長農稻田公司を違法として強制的に解散命令發出について……………288	青島暴行事件に關し遺憾の意表明、国粋会の解散など五項目の中国側要求について……………815	森少佐の臍主席訪問は特務機關側と打合せ済みとみられる旨報告について……………334	石友三の日本内地渡来には異議なきも関東州亡命は拒否するの余儀なき次第について……………920	我が方警官引揚げ後の現地状況について……………287	青島国粋会の現状および事件経緯などにつき回答……………812	青島暴行事件を至急解決するため東北側要路による胡市長説得方要請……………810	青島暴行事件に關し日本人を非難する中国新聞報道について……………811

6362

三	三	五	三	三	二	八	一	三	三	七	九	五
328	326	557	327	325	272	878	102	324	323	780	1015	556
昭和6年9月10日	昭和6年9月10日	昭和6年9月10日	昭和6年9月10日	昭和6年9月9日	昭和6年9月9日	昭和6年9月9日	昭和6年9月9日	昭和6年9月9日	昭和6年9月9日	昭和6年9月9日	昭和6年9月(9)日	昭和6年9月8日
三九〇	一九〇	一七	五七七	北電八七二	機密五九二	五二九	三八九	五七六	五七五	八七	八	八六九
在中国矢野公使館参事官より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	在中國天津公使館附佐官補佐官より	在中國天津公使館附佐官補佐官より	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
張学良が中村大尉事件には誠意をもって折衝すべし旨を張・榮に指示と柴山顧問談話について	中村大尉事件の証拠に関する新聞記事掲載禁止は困難にて勅告程度にとどまる旨通知について	煙草統税につき営口は大連より有利な状況と見られるため査報方訓令	中国人証人の斡旋につきチチハル領事より報告	張学良絶対無抵抗主義を訓令との情報について	本問題解決方に注意を転じおる旨報告	中央軍官学校記念週における蔣介石の訓話につき中央日報報道について	中央軍官学校記念週における蔣介石の訓話について	張学良が内田満鉄總裁の北平訪問を歓迎との陶尚銘談話について	中村大尉の拘禁日および銃殺日の決定を陸軍側希望について	張学良に中村大尉事件遷延の意向ない旨の榮参謀長談話について	青島暴行事件その後の状況至急回電方訓令	E、C制度を大連で直ちに適用し関東庁海關側間で妥協の促進を宋子文提案について
355	353	615	354	353	301	927	125	352	352	820	1089	613

六	三	二	三	二	三	三	四	二	九	九
663	322	271	321	270	320	319	407	269	1014	994
昭和6年9月8日	昭和6年9月8日	昭和6年9月8日	昭和6年9月8日	昭和6年9月8日	昭和6年9月8日	昭和6年9月8日	昭和6年9月7日	昭和6年9月7日	昭和6年9月(7)日	昭和6年9月(7)日
八六六	五七〇	二七	八〇	一八七	一八六	一八五	機密公 三六七	八九	四六四	八五七
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
在中國重光公使より	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣より	幣原外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
幣原外										

三	八	三	三	三	三	五	三	三	七	三	一
338	879	334	337	336	335	562	332	333	708	330	103
昭和6年9月15日	昭和6年9月14日	昭和6年9月14日	昭和6年9月14日	昭和6年9月14日	昭和6年9月14日	昭和6年9月13日	昭和6年9月12日	昭和6年9月12日	昭和6年9月11日	昭和6年9月11日	昭和6年9月11日
一九三	四一二	三九六	五九五	五九四	五九二	九二〇	三九四	五八九	五八四	九〇四	九一二
幣原外務大臣より 在奉天林総領事宛（電報）	幣原外務大臣宛（電報） 在広東須磨総領事代理より	幣原外務大臣宛（電報） 在中国矢野公使館参事官より	幣原外務大臣宛（電報） 在奉天林総領事より	幣原外務大臣宛（電報） 在奉天林総領事より	幣原外務大臣宛（電報） 在奉天林総領事より	幣原外務大臣宛（電報） 在中国重光公使より	幣原外務大臣宛（電報） 在中国矢野公使館参事官より	幣原外務大臣宛（電報） 在奉天林総領事より	幣原外務大臣宛（電報） 在奉天林総領事より	幣原外務大臣宛（電報） 在中国重光公使より	幣原外務大臣宛（電報） 在中国重光公使より
中村大尉事件交渉を機に洮南領事館開設を図るは機宜に適するを以て実現に向け努力方訓令について	陳友仁より三井武器輸出許可につき幣原外務大臣に要望について	立場について	中村大尉事件解決にあたり張学良の困難なる	栄参謀長が中村大尉殺害の事実を承認と談話について	中村事件における中国人証人郭の動向について	報告	中村事件に対する張学良の態度公平にして数日中に円満解決の望みありと湯爾和談話について	中村事件要求中将来の保障につき洮索地方の解放並びに洮南領事館の開設方提議について	中国官憲による排日運動抑圧が却って排日感情を挑発しつつある状況について	宋子文に中村大尉事件は関係軍隊の非を認め適當の解決をなすこと絶対必要と談話について	問題が多々あり大連などで会談の希望表明について
363	928	361	362	362	361	621	359	360	760	357	126

七	781	昭和6年9月10日	二一九	在青島川越総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	青島暴行事件未解決事項、損害賠償および犯人処罰などに関する交渉状況につき報告	820
七	706	昭和6年9月10日	二二〇	在青島川越総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	青島市政府が中央より反日運動抑圧方密令に接した趣について	760
五	559	昭和6年9月10日	八八八	在中國重光公使より 幣原外務大臣宛（電報）	E、C制度を大連へ適用する中国側修正案につき張福運稅務署長と会谈について	616
七	799	昭和6年9月10日	八九一	別電 九月十日發在中國重光公使より 幣原外務大臣宛（電報）	幣原外務大臣宛第八八九号 庚稅・二重課稅問題に對する中国側修正案文	617
五	560	昭和6年9月10日	八九四	在中國重光公使より 幣原外務大臣宛（電報）	古野連合外信局長の外交部に對する陳謝により連合問題解決を見たるについて	837
五	561	昭和6年9月10日	八九五	在中國重光公使より 幣原外務大臣宛（電報）	E、C發給について大連関と協議するよう関東長官宛通知方電報	618
三	329	昭和6年9月10日	五八二	別電 九月十日發在中國重光公使より 幣原外務大臣宛（電報）	庚稅・二重課稅問題に關する中国側修正案文の訂正について	619
七	707	昭和6年9月10日	一〇二	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛（電報）	臧主席と榮參謀長に中村大尉事件の重大性を警告し榮は事實關係を大略承認について	355
二	273	昭和6年9月11日	一七九	塚本関東長官より 幣原外務大臣宛（電報）	煙草輸入經路の營口への変更は根本に二重課稅問題があることについて	616
三	331	昭和6年9月11日	九〇六	在中國重光公使より 幣原外務大臣宛（電報）	煙草輸入經路の營口への変更は根本に二重課稅問題があることについて	616
七	706	昭和6年9月10日	二二〇	在青島川越総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	青島市政府が中央より反日運動抑圧方密令に接した趣について	760
五	559	昭和6年9月10日	八八八	在中國重光公使より 幣原外務大臣宛（電報）	E、C制度を大連へ適用する中国側修正案につき張福運稅務署長と会谈について	616
七	799	昭和6年9月10日	八九一	別電 九月十日發在中國重光公使より 幣原外務大臣宛（電報）	幣原外務大臣宛第八八九号 庚稅・二重課稅問題に對する中国側修正案文	617
五	560	昭和6年9月10日	八九四	在中國重光公使より 幣原外務大臣宛（電報）	古野連合外信局長の外交部に對する陳謝により連合問題解決を見たるについて	837
五	561	昭和6年9月10日	八九五	在中國重光公使より 幣原外務大臣宛（電報）	E、C發給について大連関と協議するよう関東長官宛通知方電報	618
三	329	昭和6年9月10日	五八二	別電 九月十日發在中國重光公使より 幣原外務大臣宛（電報）	庚稅・二重課稅問題に關する中国側修正案文の訂正について	619
七	707	昭和6年9月10日	一〇二	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛（電報）	臧主席と榮參謀長に中村大尉事件の重大性を警告し榮は事實關係を大略承認について	355
二	273	昭和6年9月11日	一七九	塚本関東長官より 幣原外務大臣宛（電報）	煙草輸入經路の營口への変更は根本に二重課稅問題があることについて	616
三	331	昭和6年9月11日	九〇六	在中國重光公使より 幣原外務大臣宛（電報）	煙草輸入經路の營口への変更は根本に二重課稅問題があることについて	616

九	995	昭和6年9月15日	九三三	在中国重光公使より 幣原外務大臣宛（電報）	中国側が領海十二海里を密輸防止の観点より採用せる旨外交部長公文にて申越しについて……	1072
八	881	昭和6年9月15日	九三九	在中国重光公使より 幣原外務大臣宛（電報）	日本新聞の報導振りに関し注意喚起について……	929
八	880	昭和6年9月15日	九三八	在中国重光公使より 幣原外務大臣宛（電報）	外交部亜州司馬長亮に対し臧主席の軍官学校における言説に関し速かに釈明方要請について……	928
七	709	昭和6年9月15日	九四〇	在中国重光公使より 幣原外務大臣宛（電報）	中央党部宣伝部秘書方治が日本側新聞の報道振りを批難し注意方要請について……	761
三	339	昭和6年9月15日	五九九	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	中村大尉事件中国人証人郭の瀋陽着について……	363
三	340	昭和6年9月16日	六〇〇	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	中国人証人郭の答弁振りに関する打合せにつきチチハル領事報告……	364
九	1016	昭和6年9月16日	九四六	在中国重光公使より 幣原外務大臣宛（電報）	中国水害救済のための我が方人員派遣要請には出来るだけ応じよう意見具申……	1090
三	341	昭和6年9月16日	九五〇	在中国重光公使より 幣原外務大臣宛（電報）	土肥原大佐の言動並びに新聞報道は中国側の逆宣傳に利用される恐れあり注意喚起方について……	365
三	343	昭和6年9月16日	六〇二	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	榮參謀長より関団長瀋陽着意兵司令部に身柄拘束中と通知について……	367
一	104	昭和6年9月16日	四〇二	在中国矢野公使館参事官より 幣原外務大臣宛（電報）	学良が近日中に第四次全国代表大会出席のため南下の予定との大倉組林の極秘情報について……	126
三	342	昭和6年9月16日	四〇三	在中国矢野公使館参事官より 幣原外務大臣宛（電報）	張学良が中村大尉事件を迅速かつ地方的に解決の意向表明について……	366
二	274	昭和6年9月16日	四〇四	在中国矢野公使館参事官より 幣原外務大臣宛（電報）	幣原外相は在東北朝鮮人問題を東北側のみと解決方思考しおる旨張学良に説明について……	303

一	七	三	一	九	六	三	一	三	一
109	710	346	108	1017	664	345	107	105	344
昭和6年9月17日	昭和6年9月17日	昭和6年9月17日	昭和6年9月17日	昭和6年9月17日	昭和6年9月17日	昭和6年9月17日	昭和6年9月16日	昭和6年9月16日	昭和6年9月16日
四〇七	四〇六	六〇四	六〇六	三三三	三六二	一九五	關機高 八五三五ノ二	五四三	五四二
在中国矢野公使館参事官より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国矢野公使館参事官より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在ジュネーヴ三全權より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在中国重光公使宛(電報)	幣原外務大臣より 在奉天林總領事宛(電報)	中谷閣東庁警務局長より 堀切拓務次官宛	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)
別電 九月十七日着在ジュネーヴ三全權より 右決議案									
諸懸案の解決を図る意向なる旨湯爾和の談話報告	張學良が中央政府を含む委員会を組織し東北縮方等張學良に申し入れについて	東北および河北方面における日貨排斥運動取	東拓自らが榊原農場管理に当る旨内報につい	連盟總會第二委員会採択された中国水害救済援助に関する決議案について	山東実業借款につき月額一百万円位支払いに應ずるよう国民政府に説得方訓令	陸軍側に中村大尉死亡日の決定には不同意と回答について	安東における最近の密輸状況について	対綿糸差別禁止は訓令された趣きについて	王外交部長が中村は個人的資格で旅行中であり地方的に解決と談話について
130	762	368	130	1091	717	368	128	127	367

三	352	昭和6年9月21日	四七	在牛莊荒川領事より 幣原外務大臣宛(電報)	373
四	412	昭和6年9月(21)日	一三三	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛(電報)	465
七	712	昭和6年9月19日	四一九	在中国矢野公使館參事官より 幣原外務大臣宛(電報)	763
七	711	昭和6年9月19日	三二四	在天津田尻總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	762
三	351	昭和6年9月19日	四一三	在中国矢野公使館參事官より 幣原外務大臣宛(電報)	372
四	409	昭和6年9月(20)日	六五八	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	462
四	410	昭和6年9月20日		中谷関東庁警務局長より 永井外務次官宛(電報)	463
七	713	昭和6年9月(20)日	二二五	在青島川越總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	764
四	411	昭和6年9月(21)日	一七二	在間島岡田總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	464
九	1019	昭和6年9月(21)日	九九六	在中国重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)	1092
三	352	昭和6年9月21日	四七	在牛莊荒川領事より 幣原外務大臣宛(電報)	373
四	412	昭和6年9月(21)日	一三三	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛(電報)	465
七	712	昭和6年9月19日	四一九	在中国矢野公使館參事官より 幣原外務大臣宛(電報)	763
七	711	昭和6年9月19日	三二四	在天津田尻總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	762
三	351	昭和6年9月19日	四一三	在中國矢野公使館參事官より 幣原外務大臣宛(電報)	372
四	409	昭和6年9月(20)日	六五八	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	462
四	410	昭和6年9月20日		中谷関東庁警務局長より 永井外務次官宛(電報)	463
七	713	昭和6年9月(20)日	二二五	在青島川越總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	764
四	411	昭和6年9月(21)日	一七二	在間島岡田總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	464
九	1019	昭和6年9月(21)日	九九六	在中國重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)	1092
三	352	昭和6年9月21日	四七	在牛莊荒川領事より 幣原外務大臣宛(電報)	373

八	882	昭和6年9月17日	五四四	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)
八	883	昭和6年9月17日	機密四一七	在濟南西田總領事より 幣原外務大臣宛
九	1018	昭和6年9月(18)日	九五五	在中国重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)
三	347	昭和6年9月18日	九五七	在中国重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)
八	884	昭和6年9月18日	九六〇	在中國重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)
一	110	昭和6年9月18日	六〇八	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)
三	348	昭和6年9月18日	六一一	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)
三	349	昭和6年9月18日	六一二	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)
一	111	昭和6年9月18日	九六八	在中國重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)
六	665	昭和6年9月18日	九七二	在中國重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)
三	350	昭和6年9月18日	六一四	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)
七	782	昭和6年9月18日	機密五六七	在青島川越總領事より 幣原外務大臣宛
八	930	……	……	王外交部長が中央日報紙上で最近の日本新聞……は事実と反する記事が多いと批難について
九	931	……	……	魯予清郷督弁公署参事周秀文の華北情勢に關する内話につき報告
三	369	……	……	中村大尉事件に關する内外新聞への説明について
八	934	……	……	蔣主席演説等の日本新聞報道を根拠に國民政府を攻撃することの不可について
一	131	……	……	張学良に対する危害計畫なきにつき誤解解消方矢野参事官へ電報
三	370	……	……	榮參謀長が第三團兵士による中村大尉一行の殺害前後の状況に關し詳細談話について
六	717	……	……	中村大尉殺害に關する中国側弁明反駁のため特務機関と打ち合せについて
九	1091	……	……	内田總裁が宋子文の來連を歓迎し懇談を熱望しおる旨木村理事談話について
三	372	……	……	山東実業借款整理に關し中日側の実情より好意的に取り計らう旨の宋子文談話について
八	930	……	……	第二回調査隊が中村大尉一行の中國側官兵による殺害を承認の旨新聞などに説明について
三	821	……	……	国粹会本部理事長一行の動靜につき報告

七	九	八	九	四	四	六	七	七	七	四	八
720	1023	887	1022	418	417	666	719	718	717	416	886
昭和6年9月28日	昭和6年9月28日	昭和6年9月27日	昭和6年9月26日	昭和6年9月26日	昭和6年9月25日	昭和6年9月25日	昭和6年9月25日	昭和6年9月25日	昭和6年9月24日	昭和6年9月24日	昭和6年9月24日
一〇六四	五五三	四六三	一〇四二	二八	三八一	五四五	四四二	三三七	五二七	一〇三一	四五二
在中国重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在広東須磨総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在鉄嶺石塚領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在間島岡田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在天津田尻総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在広東須磨総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)
武器購入契約解約手続済みとの三井山崎の内 話について	中国共産党の各支部への命令および在上海朝 鮮人の動向注視について	津島の中国赴任を当分取止めとする様宋子文 に申し入れ方永井次官訓令	柳条溝事件に鑑み警察機関拡充意見具申	敗残兵による暴行放火等により付属地に避難 する朝鮮人のため救済費請求について	深尾代表帰朝天城丸も積荷のまま門司に回航 について	満州事変勃発による南京・広東政府の和平な ど広東側動静について	宋子文により発表された米国の小麦購買契 約について	中国側輿論は引続き激烈にして特に学生等の 感情激化および蔣・広東合体促進の状況につ いて	769	1094	935

九	一	七	八	五	七	九	七	四	四	一	四	
1021	113	716	885	603	715	1020	714	415	414	112	413	
昭和6年9月24日	昭和6年9月23日	昭和6年9月23日	昭和6年9月23日	昭和6年9月23日	昭和6年9月23日	昭和6年9月23日	昭和6年9月22日	昭和6年9月22日	昭和6年9月21日	昭和6年9月21日	昭和6年9月21日	
一〇二六		一九〇	四四二	二二九	三三七	一〇一〇	商五四	一九九	朝参報五〇		機密公信 一九七	
幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より 幣原外務大臣宛	在間島岡田総領事より 幣原外務大臣宛	在青島川越総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在天津田尻総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海横竹商務参事官より 幣原外務大臣宛(電報)	在ハルビン大橋総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	二宮参謀次長宛(電報)	兒玉朝鮮軍参謀長より 二宮参謀次長宛(電報)	在間島岡田総領事より 幣原外務大臣宛	在頭道溝松原分館主任より 幣原外務大臣宛	
在中國重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在間島岡田総領事より 幣原外務大臣宛	在濟南西田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在青島川越総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在天津田尻総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在中國重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海横竹商務参事官より 幣原外務大臣宛(電報)	在ハルビン大橋総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	二宮参謀次長宛(電報)	兒玉朝鮮軍参謀長より 二宮参謀次長宛(電報)	在間島岡田総領事より 幣原外務大臣宛	在頭道溝松原分館主任より 幣原外務大臣宛	
宋子文が日本側慰問品の受け取りを拒絶する 旨の書簡を発したとの新聞報道について	三井との武器購入契約取消しの旨陳友仁の内 話について	山東に関する限り治安維持並びに日本人保護に つき安心ありたしとの韓主席談話について	検挙犯人奪取事件に対し延吉県公安局長が部 下を戒飭について	宋子文が日本側慰問品の受け取りを拒絶する 旨の書簡を発したとの新聞報道について	三井との武器購入契約取消しの旨陳友仁の内 話について	満州事変勃発のため天城丸積載救恤品の引渡 し遅延状況について	日中両軍の衝突を避けるため警察官の増員派 遣詮議方稟請	膠済鉄路局と交渉の結果綿糸は十六番手以上 を優等品とする等を決定二十三日より実施に ついて	三井との武器購入契約取消しの旨陳友仁の内 話について	山東に関する限り治安維持並びに日本人保護に つき安心ありたしとの韓主席談話について	検挙犯人奪取事件に対し延吉県公安局長が部 下を戒飭について	宋子文が日本側慰問品の受け取りを拒絶する 旨の書簡を発したとの新聞報道について
1093	134	766	934	648	766	1092	764	467	467	132	466	

三	四	一	七	七	五	八	七	四	九	七	四	四	四	七	七	八	五	七	三	
353	721	563	888	722	723	419	724	420	422	421	725	七	四	四	七	八	五	七	三	
昭和6年9月28日	昭和6年9月28日	昭和6年9月28日	昭和6年9月29日	昭和6年9月29日	昭和6年9月29日	昭和6年9月29日	昭和6年9月30日	昭和6年9月30日	昭和6年10月1日	昭和6年10月1日	昭和6年10月1日	昭和6年10月1日	昭和6年10月1日	昭和6年10月2日	昭和6年10月3日	昭和6年10月5日	昭和6年10月6日	昭和6年10月6日	昭和6年10月7日	
二六一	四七一	一一八	二〇一	三六一	五六二	六八七	六二〇	八一六	七六	六二〇	一一九	七六	八一六	七六	六二〇	七三	四九七	七〇四	機密八〇七	
在ハルビン大橋総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在広東須磨総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	塚本閣東長官より 幣原外務大臣宛(電報)	在濟南西田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在天津田尻総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口坂根総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在南京上村総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在ハルビン大橋総領事宛(電報)	在ハルビン大橋総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在ジュネーヴ三全權より 幣原外務大臣宛(電報)	今井田朝鮮總督府政務總監より 永井外務次官宛	上海日本商工会議所より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在奉天林総領事宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛	在天津田尻総領事代理宛(電報)	在廣東須磨總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在漢口坂根總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	
チチハル領事より中国人証人処遇につき請訓	陳友仁が広東には組織的排日なく香港暴行事件等は蔣介石の指金によるものと談話について	E、C発給に關する関東庁・税関間交渉一時延期について	韓主席が石友三は濰県に滞留せしめおり当分何処にも行かざる筈なりと内話について	柳条湖事件により排日運動再燃について	上海市商會が二十八日臨時會員大会を開催し排日方法決議について	治安維持のため朝鮮總督府からの応援警察官増派手配完了方通知	中央政府よりの取締り密令あるも反日運動拡大の傾向について	治安維持のため警察官の増員が必要について	避難朝鮮人救済のため政府方針決定方稟申	滿州里方面の居留民保護方につき訓令	國民政府は三十日付にて学生運動抑圧のため国内治安維持方布告について	連盟保健機關による防疫専門家の派遣に關する連盟理事會決議について	事変による奥地在住朝鮮人の被害者、避難民等の救済保護について	排日運動激化による經濟絶交の徹底は戰闘行為であり断乎南京政府に禁止方要求請願	全滿日本商工会議所連合會の滿鉄および日本人商工会建直し建議案可決について	租界内中国人の自發的營業稅納付は默認するも中国官憲による營業調査の拒絶方訓令	排日運動の影響について広東における日本商社調査報告	中国側銀行團錢莊業者による金融取引断絶により日本商の打撃甚大となる模様について	滿鉄付屬地における外國人の所有家屋の登記並に外國人に対する土地貸付け方針について	
374	770	622	938	771	772	469	773	470	471	470	774	470	471	471	774	938	940	622	776	135
付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」	付記 「十月二十九日関東軍司令部発表 「故中村震太郎少佐虐殺ノ真相」

七	四	一	四	七	七	七	四	一	一	四	七	二	四	二	一	五	七	二	一	四	七
729	425	115	276	730	565	116	277	426	731	427	117										
昭和6年10月8日	昭和6年10月9日	昭和6年10月9日	昭和6年10月9日	昭和6年10月10日	昭和6年10月12日	昭和6年10月12日	昭和6年10月13日	昭和6年10月14日	昭和6年10月14日	昭和6年10月14日	昭和6年10月15日										
五〇一	六四〇	機密 一二二五	機密四五一	三八三	九四三	一四一	機密四七〇	二二八	商七三	外一三六	一四三										
在広東須磨総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在間島岡田総領事より 幣原外務大臣宛	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛	在天津田尻総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛	在間島岡田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海横竹商務参事官より 幣原外務大臣宛(電報)	今井田朝鮮總督府政務總監より 永井外務次官宛	在吉林石射總領事より 幣原外務大臣宛(電報)										
全国一致抗日のため経済絶交を正当化する孫科の談話発表について	漢口租界に対する仏国の態度は民国側の暴力に對しては飽迄防衛する積り等との同国公使館シャイエの内話について	局子街分館警察署長、延吉県公安局長と共產党検査に關し協調方談話について	監禁されていた郝永徳の帰宅と朝鮮人農民の保護等充分手配をなすべき旨言明について	各種団体の排日決議も具体化せず対日貿易に影響なき旨について	両三日来中国商より進んで營業税納付の状況について	日本軍部は省政府をして吉会線敷設計画を実行する意向について	万宝山事件で拘禁中の郝永徳保釈出獄について	間諜朝鮮人民会連合会會議において治安維持機關擴張要求等に関し協議について	日貨排斥が組織的且つ峻烈となり取引杜絶の状況について	満州事変に基因する在外朝鮮人の救助費支出は外務省で一括処理方出先官憲に徹底について	熙長官が天國線延長案に賛意表明について										
479	475	142	307	778	623	143	308	476	778	476	144										
付記 高裁案(十月二十日亜細亜局第二課起案) 一在満朝鮮人救護費中應急ノ分一時立替支出方ノ件																					
479	479	782	478	781	478	780	780	779	477	144											

七	742	昭和6年10月27日	四三九	在天津桑島總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	救国連合会が反日運動の実権を握り徹底的な排日を企画について	786
七	743	昭和6年10月28日	七六二	在漢口坂根總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	經濟斷交運動による漢口日本商への影響報告	787
一	121	昭和6年10月28日	一五六	在吉林石射總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	大迫中佐が吉会線問題の自発的解決を熙治に勧告について	147
七	744	昭和6年10月29日	四四四	在天津桑島總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	天津における排日運動の影響につき報告	790
七	745	昭和6年10月29日	四四五	在天津桑島總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	商会、市党部および反日救国連合会の協議による店頭日貨封鎖決議について	790
四	434	昭和6年10月30日	一一四四	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	朝鮮人取締り保護等に関する朝鮮軍等との協議結果報告	482
九	1025	昭和6年10月30日	六九三	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	水災救済費用充当のための付加税徴収につき張福運の内話について	1095
一	122	昭和6年10月31日	機密六三六	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛	安東における酒類の大規模な密輸入に関し新義州の税関・警察は放置の状況について	147
八	893	昭和6年10月31日	關機高一〇三九二	中谷関東庁警務局長より 永井外務次官他宛	貴族院中国視察団と長春有力者との時局に関する意見交換について	953
四	435	昭和6年11月2日	機密公二〇二	在掏鹿斎藤領事分館事務取扱より 幣原外務大臣宛	西安県在留朝鮮人が圧迫されているとの陳情は救済費を受けようとしての言動なるものと思はれるについて	483
一	123	昭和6年11月3日	一五九	在吉林石射總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	熙治が吉長吉敦兩鉄道を合併し同鉄路局を設け正副長等任命の趣について	149
四	436	昭和6年11月4日	一一九三	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	朝鮮總督府が外務省をさしおき被害朝鮮人救助のため金一万円支出見込みについて	485

八	890	昭和6年10月22日	一八二 普通 幣原外務大臣宛	在ハルビン大橋総領事より	中ソ交渉における中東鉄道管理問題等に関する張寿増中国側専門委員の談話について	948
八	891	昭和6年10月22日	一八二 關機高支 二 一〇九ノ	中谷関東庁警務局長より 永井外務次官、堀切拓務次官宛	滿州事変による東北マツチ専売制効力喪失に伴い東北火薬木連合維持会結成について	949
六	667	昭和6年10月22日		高木中日実業株式会社 東京本社高木副總裁宛	山東実業借款暫定弁法として毎月銀一萬元以上の支払いは不可能と観測について	718
一	119	昭和6年10月23日	一七三	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛（電報）	安東における酒類密輸取締り励行の方針について	145
七	737	昭和6年10月23日	一一八〇	在中国重光公使より 幣原外務大臣宛（電報）	排日對抗の報復手段等につき意見交換のため青木大蔵省国庫課長の上海立寄り希望について	783
七	738	昭和6年10月23日	七二〇	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	日本人窮民の暴力団化憂慮せらるるにつき生活補助費および帰国旅費支出方詮議ありたきについて	784
一	120	昭和6年10月23日	一七五	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛（電報）	帽児山領事館分館設置に対する日、中、朝鮮人の意向について	146
七	739	昭和6年10月24日	一八三	幣原外務大臣より 在上海村井総領事宛（電報）	時局に因る日本人窮民救護費支出方に関し政府財政困難の折衷請の取扱ひ困難なる事情について	785
七	740	昭和6年10月24日	四三三	在天津桑島総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	反日救国連合会の活動により排日貨深刻化の模様について	785
四	433	昭和6年10月24日		三浦亜細亜局第二課長より 在間島岡田総領事宛	間島在住朝鮮人の苦境を報告し予備金支出を画策方勧告について	481
七	741	昭和6年10月25日	七五二	在漢口坂根総領事より 幣原外務大臣宛（電報）	地方官憲による反日運動取締には限界あるについて	789
八	892	昭和6年10月27日	一〇九	幣原外務大臣より 在漢口坂根総領事宛（電報）	江西、湖南兩地方の軍隊配置状況乃至共匪活躍の様相等情况査報方訓令	952

七	七	三	一	六	一	八	一	二	一	一	八	一	六	七	一	一	四
748	747	355	131	669	130	895	129	278	128	127	894	126	668	746	124	125	437
昭和6年11月11日	昭和6年11月11日	昭和6年11月(11)日	昭和6年11月10日	昭和6年11月9日	昭和6年11月9日	昭和6年11月9日	昭和6年11月8日	昭和6年11月(8)日	昭和6年11月7日	昭和6年11月7日	昭和6年11月6日	昭和6年11月6日	昭和6年11月6日	昭和6年11月5日	昭和6年11月5日	昭和6年11月5日	昭和6年11月5日
八〇〇	七九九	一二四八	一七二	一一四	一七一	一二四二	一二二五	一六八	一六六	一六五	七七七	一六二	四七六	二〇三	二〇六	一一九八	
幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在海龍松浦分館主任より 幣原外務大臣宛(電報)	別電 十一月六日発在上海村井総領事より 上海銀行同業公会の宣言要旨	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在天津桑島総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)
排日貨運動が在華紡・銀行・保険・倉庫業に及ぼしている影響について	日本人窮民救済問題は焦眉の急に迫られており稟請の額だけ前渡送金方要請	中村大尉事件責任者関玉衡の情報について	奉天における日本青年将校の横暴により鉄道交渉停頓状況につき加来より飯田へ連絡について	国際商業会議所理事會が専門家に依頼せる銀問題研究の一部発表について	熙治が吉会線敷設に関する合意は軍部が非常に急いでいるため已むを得ずと述べたについて	第四期中央執行委員會第一回會議を南京、広東、政府合同で開催することに意見一致について	吉会、長大兩線の敷設に対しては昭和三年の契約を履行する建前をとることにについて	熙長官より鍾特派員を免職し謝介石を吉林交渉署長に任命との通告について	吉会および長大線は吉長吉敦局長より延長線として敷設方願出を許可する形式をとる旨について	長大線敷設に關し了解成立について	四全大会の各別開催および上海銀行同業公会による和平統一促進に關する宣言発表について	熙治と關東軍の間で吉会線を吉長・吉敦線延長として敷設の了解成立した旨奉天宛電報について	張學良副司令行營より排日制止方訓令について	吉会線敷設契約成立し測量開始の情報について確認方吉林総領事宛要請	熙治より本庄軍司令官に対し吉会線敷設方申し越しについて	朝鮮人避難民に対する具体的救護案考究の上回報ありたき旨在東北各領事宛電報	
792	792	380	379	379	378	377	153	721	152	960	959	150	721	791	149	150	486

七	四	八	八	五	七	七	四	四	四	一	七	七
756	442	898	899	567	755	754	441	440	439	134	753	752
昭和6年11月24日	昭和6年11月24日	昭和6年11月24日	昭和6年11月24日	昭和6年11月24日	昭和6年11月24日	昭和6年11月23日	昭和6年11月22日	昭和6年11月21日	昭和6年11月20日	昭和6年11月20日	昭和6年11月20日	昭和6年11月19日
八二三	一三八六	七七二	一三七八	一三七七	二〇一	支八七三		六五六	機密公 五五五	報二機密 九一三	五七六	一九三
在漢口坂根総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天森島総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天森島総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天森島総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在上海村井総領事宛(電報)	在中国田代公使館付武官より 二宮參謀次長宛(電報)	亜細亜局第二課高裁案	在ハルビン大橋総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛	永井外務次官より 次田内務次官宛	在天津桑島総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在上海村井総領事宛(電報)
何成濬の取締りにより経済断交運動緩和の方 向へむかうと思われるについて	関東庁より警察官増員につき外務省側の助力 を依頼について	二十三日閉会の四全大会で于右任が大会宣言 を朗読し蔣介石が閉会の辞を述べたについて	遼寧省を奉天省と改称について	財政庁は三統稅復活の案を定め申告にて徵稅 の意向につき関東庁宛電報	上海在留民の救護費は対象者に応じ支出し節 約方訓令	揚子江一帯の排日深刻化に鑑み時局特別委員 会の名義にて対策考究について	満州里および海拉爾の在留朝鮮人保護のため 兩地に民会を開設方意見具申	満州事変に伴う在中國居留民救護費支出につ いて	満鉄による朝鮮人救済のための水田用地買収 計画につき報告	満鉄が新政権と新線敷設準備進行中との新聞 記事差止めについて	天津事件後事態好転にともない荷動き開始せ るも日本からの輸入は依然杜絶の状態につい て	日本人窮民救済費支出に関し鋭意努力中につ き暫時しかるべく繰合せ置く様訓令
801	491	970	971	624	800	799	489	488	488	155	798	798

五	八	七	七	一	七	二	八	一	四
566	897	751	750	133	749	279	896	132	438
昭和6年11月17日	昭和6年11月17日	昭和6年11月17日	昭和6年11月14日	昭和6年11月13日	昭和6年11月13日	昭和6年11月13日	昭和6年11月12日	昭和6年11月12日	昭和6年11月12日
一三三	合二二九四	二六三	八一四	一七六	五一	一二七〇	機密公 五三六	一七四	一八五
塚本閣東長官より 幣原外務大臣宛(電報)	別電 十一月十七日発在中國重光公使より 最近の中國政局一般について	在青島川越総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在シヤム矢田部公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛(電報)
二重課税問題交渉中断にあつて抗議付き乃至 強制的通関の外策なき旨中國公使宛電報	満州問題に関する政府基本大綱並びに連盟理事 会对策への芳沢代表宛訓令に対する意見具申	山東鐵道沿線における排日貨物深刻化の模様 なく却つて一部対日輸出活発化し日本人工場 も依然操業について	国民政府実業部が日本貨物の代替を推進につ いて	敦化・牡丹江間と長大・吉会兩線の測量着手 に關し満鉄は未だ原則的契約未調印について	パンコックでは排日ボイコット深刻化が報道 されているも裏面で日本商品取引されている 旨報告	万宝山問題で未解決は小作契約關係調整のみ との長春領事・吉林総領事宛電報	關係(未定稿)―― 「滿洲政權獨立ト我國經濟トノ	生活困窮の韓安および寛甸昇移住朝鮮人に対 し農業資金融通、保護方兩県朝鮮人會支部長 陳情について	敦化・牡丹江間測量が十一月九日開始され牡 丹江・延吉間は十二月一日着手の予定につい て
623	968	796	795	155	794	309	962	961	154

八	四	四	九	一	一	五	一	八	一	九	八
903	446	445	1029	141	140	569	139	902	138	1028	901
昭和6年12月3日	昭和6年12月2日	昭和6年12月2日	昭和6年12月2日	昭和6年12月2日	昭和6年12月2日	昭和6年12月1日	昭和6年12月1日	昭和6年11月30日	昭和6年11月30日	昭和6年11月30日	昭和6年11月30日
六七七	關機高鮮 五四〇ノ二	二〇三	一四五二	一四五二	一四五二	一五〇	一九一	公四二七	七〇〇	六六四	六九五
在広東須磨總領事代理より	中谷関東庁警務局長より 永井外務次官他宛	幣原外務大臣宛(電報)	在安東米沢領事より	幣原外務大臣宛(電報)	在安東米沢領事より	在奉天森島總領事代理より	在奉天森島總領事代理より	在牛莊荒川領事より	幣原外務大臣宛	在ハルビン大橋總領事より	在ハルビン大橋總領事より
幣原外務大臣宛(電報)											

昭和六年(一九三二)十二月

吉会、長大両線の請負は既存の契約を尊重する形で、行なう予定について	輸入税納付済み外国貨物に一律免税証発給方申し入れについて	吉長、吉敦、吉海鉄道合併に関し満鉄側と熙洽との間に調印について	弓長嶺運行鉄道に関する鉄道敷設案近く調印の運びについて	安東の日本商および憲兵隊長などによる水災付加税反対運動について	中国側の間島商埠地内法権行使に対する一般の対応及び指示について	避難朝鮮人等の今後における保護対策樹立上の参考事項について	統一政府成立後の広東政府の動向に関する陳友仁の内話について
974	495	494	1098	160	159	625	159

四	七	九	一	九	五	二	一	一	四	八	八
444	757	1027	137	1026	568	280	136	135	443	900	927
昭和6年11月29日	昭和6年11月29日	昭和6年11月29日	昭和6年11月29日	昭和6年11月28日	昭和6年11月28日	昭和6年11月26日	昭和6年11月26日	昭和6年11月25日	昭和6年11月25日	昭和6年11月25日	昭和6年11月25日
	八三四	八六三	一四二八	七九三	三三七	機密七三八	一八六	關機高 二三〇五ノ二	一九五	六四四	六四一
三浦亜細亞局第二課長より 在安東米沢領事宛(半公信)	在漢口坂根總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海村井總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天森島總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在奉天森島總領事代理宛(電報)	幣原外務大臣より 幣原外務大臣宛	在長春田代領事より 幣原外務大臣宛(電報)	中谷関東庁警務局長より 永井外務次官他宛	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在広東須磨總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在広東須磨總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)

渡日目的は日本政府の対満政策に関する情報収集にあつたとの陳友仁の報告書について	広東四全大会における中央執監委員の選挙および蔣、張下野決議に対する汪、孫、陳友仁などの動静に關し陳中孚の内話について	避難朝鮮人が近く大挙して安東に引揚げ来る形勢につき救護方法回示方請訓	満州事変後の満鉄による貨物輸送状況について	吉会、長大両線の測量実施が軍部の慫慂による旨並びに兩線着工は来年解氷期よりとの中川代表等談話について	万宝山問題に關し熙長官は県政府と田代領事との間で解決せしめたい意向について	輸入綿糸以外の統税賦課は条約違反につき阻止方訓令	水災救済付加税章程案の立法院通過十二月一日より実施について	張景惠側と鉄道・航空事業を日中合弁となすことに調印をみたとの駒井関東軍囑託談話について	上海海關による水災救済付加税徴収通告について	銭莊組合による排日貨運動停止方要求について	朝鮮總督府と内議の上避難朝鮮人の朝鮮内送還方取計らいについて
493	801	1097	157	1096	625	310	157	155	492	971	1010

七	758	昭和6年12月3日	八四四	在漢口坂根總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	漢口における金融恐慌深刻化について	977
一	142	昭和6年12月(4)日	七二一	在ハルビン大橋總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	我が軍部と張景恵間で奉天・ハルビン間航空 運送事業契約成立し調印を了したるについて	160
七	759	昭和6年12月4日	六八七	在広東須磨總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	広東方面の一般排日状況は依然緩和されず陳 済棠一派により悪化の懸念あるについて	803
一	143	昭和6年12月5日	一九五	在吉林石射總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	吉海と吉長・吉敦の合併実施期並びに吉林・ 五常間と延吉・寧古塔間の鉄道敷設等につい	161
九	1030	昭和6年12月5日	二〇六	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛(電報)	水災救済付加税に対する日本商などの反対運 動収束について	1099
五	570	昭和6年12月6日	一三八三	在中国重光公使より 幣原外務大臣宛(電報)	国民政府側が我が方要求を拒否し来る場合の 対応につき関東長官宛照会	626
一	144	昭和6年12月6日	一四八二	在奉天森島總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	弓長嶺運行鉄道に関する協定書の効力を有力 にさせるため總領事として調印の意向につい	162
一	145	昭和6年12月7日	七三一	在ハルビン大橋總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	張景恵が黒龍江省主席に就任の際に鉄道問題 の具体的意志表示を行なうと表明について	162
一	146	昭和6年12月7日	七三二	在ハルビン大橋總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	満鉄側と熙洽間に吉林・五常、長春・泰来、 扶余・哈爾濱・延吉・依蘭、敦化・東京城の 五鉄道建設計画並びに了解事項成立について	163
一	147	昭和6年12月8日	二七八	在間島岡田總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	敦化付近にて中国兵が測量中の満鉄社員など を殺傷について	163
八	904	昭和6年12月(8)日	一四九五	在奉天森島總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	奉天にて開催された時局に関する全満日本人 連合会における討議内容について	977

四	447	昭和6年12月8日		在安東米沢領事より 三浦亜細亜局第二課長宛(半公信)	避難朝鮮人を漫然と朝鮮内に帰還させるので はなくあくまで救護が必要について	497
一	148	昭和6年12月9日	二八七	在間島岡田總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	満鉄測量班遭難事件の詳細報告について	164
四	448	昭和6年12月10日	一五二三	在奉天森島總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	避難朝鮮人救済費の未だ送付なきところ臨時 事件費等適當の費用中より同救済費支出方意 見具申	499
一	149	昭和6年12月10日	二八八	在間島岡田總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	満鉄測量班遭難事件に関する中国側との交渉 について	165
一	150	昭和6年12月11日	一五二一	在奉天森島總領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	帽児山領事館分館開設または警官派出所の増 設による所謂三矢協定の廃止につき意見具申	165
一	152	昭和6年12月11日	二二〇	在安東米沢領事より 幣原外務大臣宛(電報)	臨江、長白地方の中国側態度軟化は帽児山分 館設置の好機の旨意見具申	167
四	449	昭和6年12月11日	三六五	在奉天森島總領事代理宛(電報)	満鉄測量班遭難事件に關し中国側へ陳謝等の 実行方警告につき間島總領事宛電報	166
一	151	昭和6年12月11日	三八	在局子街田中副領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在東北朝鮮人救済費支出方に關し最小限度の 救済費にて支出抑制方訓令	500
一	154	昭和6年12月12日	四〇	在局子街田中副領事より 幣原外務大臣宛(電報)	延吉警備司令が満鉄測量班遭難事件に關し陳 謝のため来館について間島總領事宛電報	169
一	153	昭和6年12月12日	四五	幣原外務大臣より 在吉林石射總領事宛(電報)	吉会線問題に關する朝鮮軍の問合せに対し外 務、陸軍協議の上回電について	168
				別電 十二月十二日発幣原外務大臣より在吉林石射總領事宛第四六号 明春解氷期後に吉会線敷設着手について	168	
				付記 十二月十九日発龍井村内地人民会・龍井村朝鮮人民会より犬養外務大臣宛電 報 龍井村の吉会線通過区域編入に關し考慮方要請について	168	

四	七	七	八	一	七	七	八	一	一	一	五	八
451	762	763	910	162	761	760	909	161	160	159	572	908
昭和6年12月28日	昭和6年12月28日	昭和6年12月28日	昭和6年12月27日	昭和6年12月25日	昭和6年12月24日	昭和6年12月23日	昭和6年12月20日	昭和6年12月19日	昭和6年12月18日	昭和6年12月18日	昭和6年12月17日	昭和6年12月16日
三一	三一〇	九四四	七三八	三〇八	八六	九三九	機密公 三一〇	一五六四	二二八	三〇一	一五四六	機密公 四七〇
在間島岡田総領事より 犬養外務大臣宛(電報)	在濟南西田総領事より 犬養外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 犬養外務大臣宛(電報)	在廣東須磨總領事代理より 犬養外務大臣宛(電報)	在間島岡田総領事より 犬養外務大臣宛(電報)	在芝罘内田領事より 犬養外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 犬養外務大臣宛(電報)	在鄭家屯大和久領事より 犬養外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 犬養外務大臣宛(電報)	在安東米沢領事より 犬養外務大臣宛(電報)	在間島岡田総領事より 犬養外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 犬養外務大臣宛(電報)	在満州里山崎領事より 犬養外務大臣宛(電報)
間島地方における小作朝鮮人の生活難厳しき 折から本省補助金支出方意見具申	韓主席の反日嚴重取締りと済南における商況 につき報告	上海市政府が二十五日付にて学生運動取締り 命令発出について	統一政府組織は順調に進展および東北政局の 混乱は軍閥解体に有利との唐紹儀の談話につ いて	王徳林部隊の甕声礮子分署襲撃について	無順炭移入差し止めによる影響拡大傾向につ いて	資本を有するも換貨できない所謂有産者中の 困窮者にも救済方必要と思考について	錦州以北内モンゴル王会議の開催について	北寧鐵道借款支払のための振出手形支払い 停止問題地方的解決の見込みについて	安東において公然と密輸入実施され取締り困 難なる状況について	領事館警察をして吉海線測量隊の保護方軍側 と合意について	英米煙草社と遼寧財政庁間の紛議につき幹旋 方英国総領事より申し越しについて	蒙古政庁および青年党などによるコロソバイ ル独立運動の状況について
502	806	807	983	174	805	804	982	173	172	172	627	980

四	二	一	八	八	一	一	五	八	一
450	281	158	907	906	157	156	571	905	155
昭和6年12月16日	昭和6年12月16日	昭和6年12月16日	昭和6年12月16日	昭和6年12月15日	昭和6年12月15日	昭和6年12月14日	昭和6年12月14日	昭和6年12月14日	昭和6年12月12日
一五四三	二〇三	二九七	一四〇五	七四八	四三	機密公 七八二	九一一	六八五	關機高 一三七七ノ二
在奉天林総領事より 犬養外務大臣宛(電報)	在長春田代領事より 犬養外務大臣宛(電報)	在間島岡田総領事より 犬養外務大臣宛(電報)	在中国重光公使より 犬養外務大臣宛(電報)	在中国矢野公使館参事官より 犬養外務大臣宛(電報)	在局子街田中副領事より 犬養外務大臣宛(電報)	在吉林石射総領事より 犬養外務大臣宛(電報)	在上海村井総領事より 犬養外務大臣宛(電報)	在天津桑島総領事より 犬養外務大臣宛(電報)	中谷関東庁警務局長より 堀切拓務次官宛
二 昭和八年四月十二日在新京栗原総領事より内田外務大臣宛公信 万宝山農業組合解散について	付記一 昭和七年二月二十三日在長春田代領事より芳沢外務大臣宛公信 万宝山問題其の後の事情に關し報告	長春県知事が熙長官の訓令により万宝山問題 円満解決の下準備を開始したき意向について	既墾地買収に關して中国人担保土地の肩替り 方法を採らないものは買収価格の半額を朝鮮 農民に負担せしめ残り半額を貸出す方針につ いて	蔣介石の下野実意は財政行詰りの結果との湯 爾和、黄濬の内話について	滿鉄測量班遭難事件の責任者処分を中国側踏 踏の状況について間島総領事宛報告	事変後の差別運賃撤廃に關する東北交通委員 会より東北各鐵路局宛指令について	東北四省の捲煙綿糸統稅徵稅方に關する財政 部統稅署通告につき関東長官宛電報	張学良を中心とした華北時局觀察について	滿鉄の營口行特定運賃廃止發表について
東亜勸業奉天農場に匪賊來襲に対し朝鮮人現 地保護のため警察官派遣方関東長官宛請訓									
501	313	312	311	171	979	978	627	977	169

日本外交文書
昭和期Ⅰ第一部第五卷
(昭和六年)
不許複製

Documents on
Japanese Foreign Policy
Showa Era, Series I (1931)
Part 1, Volume 5

平成七年 三月二十一日印刷
平成七年 三月三十一日発行

外務省編纂
外務省発行

新潟市津島屋
七丁目二十番地
株式会社 文天閣

八	一	一	一	一	八	八
913	166	165	164	163	912	911
昭和6年12月31日	昭和6年12月31日	昭和6年12月30日	昭和6年12月29日	昭和6年12月29日	昭和6年12月29日	昭和6年12月28日
公一〇一〇	一六二五	一六一九	一〇七	六九三	三一二	一四八八四ノ二
在犬養外務大臣宛 在中國矢野公使館参事官より	在犬養外務大臣宛 在奉天森島總領事代理より 在奉天森島總領事代理より	在犬養外務大臣宛 在奉天森島總領事代理より 在奉天森島總領事代理より	在犬養外務大臣宛 在奉天森島總領事代理より 在奉天森島總領事代理より	在犬養外務大臣宛 在奉天森島總領事代理より 在奉天森島總領事代理より	在犬養外務大臣宛 在奉天森島總領事代理より 在奉天森島總領事代理より	在犬養外務大臣宛 在奉天森島總領事代理より 在奉天森島總領事代理より
...	...	...	...	...	...	...
986	176	176	175	175	985	984